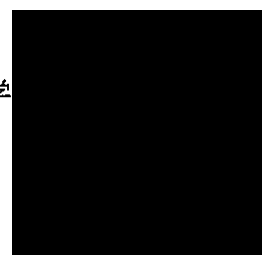


厚生労働大臣

殿

国立大学法人千葉大学
徳久剛



千葉大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 25 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 2 6 3 - 8 5 2 2 千葉市稲毛区弥生町 1 - 3 3
氏 名	徳久剛史

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人千葉大学

3 所在の場所

〒 2 6 3 - 8 5 2 2 千葉市稲毛区弥生町 1 - 3 3	電話(043)251-1111
-------------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

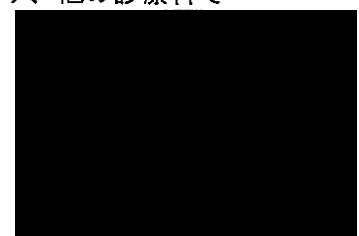
(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 循環器科 2 呼吸器内科 3 心療内科 4 神経内科 5 アレルギー科 6	7
8	9 10 11 12 13 14
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。



(2) 外科

外科	(有) ・ 無					
外科と組み合わせた診療科名						
1 呼吸器外科	2 心臓血管外科	3 小児外科	4 形成外科	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
診療実績						

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑬麻酔科	⑭救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無					
歯科と組み合わせた診療科名						
1 口腔外科	2	3	4	5	6	7
歯科の診療体制						

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 病理診断科	2 リハビリテーション科	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
45 床	・ 5 床	床	床	785 床	835 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	252 人	449 人	565.7人	看 護 補 助 者	100 人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0 人
歯 科 医 師	8 人	31 人	32.8人	理 学 療 法 士	23 人	臨 床 検 査 技 師	77 人
薬 剤 師	47 人	15 人	59.7人	作 業 療 法 士	12 人	衛 生 検 査 技 師	0 人
保 健 師	0 人	0 人	0 人	視 能 訓 練 士	6 人	そ の 他	0 人
助 産 師	41 人	0 人	41 人	義 肢 装 具 士	0 人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0 人
看 護 師	804 人	44 人	839.5人	臨 床 工 学 技 士	15 人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	11 人
准 看 護 師	1 人	2 人	3 人	栄 養 士	2 人	そ の 他 の 技 術 員	61 人
歯 科 衛 生 士	1 人	2 人	2.7 人	歯 科 技 工 士	0 人	事 務 職 員	328 人
管 理 栄 養 士	4 人	7 人	11 人	診 療 放 射 線 技 師	46 人	そ の 他 の 職 員	33 人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	25 人	眼 科 専 門 医	13 人
外 科 専 門 医	36 人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	15 人
精 神 科 専 門 医	12 人	放 射 線 科 専 門 医	13 人
小 児 科 専 門 医	3 人	脳 神 経 外 科 専 門 医	13 人
皮 膚 科 専 門 医	7 人	整 形 外 科 専 門 医	26 人
泌 尿 器 科 専 門 医	11 人	麻 酔 科 専 門 医	17 人
産 婦 人 科 専 門 医	20 人	救 急 科 専 門 医	11 人
		合 計	222 人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	747 人	14 人	761 人
1日当たり平均外来患者数	1,956 人	71 人	2,027 人
1日当たり平均調剤数		入院：876 剤	外来：383 剤
必要医師数			136 人
必要歯科医師数			11 人
必要薬剤師数			26 人
必要(准)看護師数			381 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	374.75m ²	鉄筋コンクリート	病床数	22床	心電計	○・無
			人工呼吸装置	○・無	心細動除去装置	○・無
			その他の救急蘇生装置	○・無	ペースメーカー	○・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	316 m ²		病床数	26 床
	[移動式の場合]	台数	3 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	29 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	302 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動生化学分析装置、全自動免疫化学分析装置			
細菌検査室	97 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動細菌同定感受性システム、全自動血液培養装置			
病理検査室	137 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動包埋装置、パラフィン包埋機、薄切装置、自動染色機			
病理解剖室	74 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、固定槽、撮影装置			
研究室	569 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) パソコン			
講義室	225 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1 室	収容定員	150 人
図書室	36.75 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	3,300 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	97.1 %	逆紹介率	65.5 %
算出根拠	A：紹介患者の数	19,446 人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	15,076 人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	2,905 人	
	D：初診の患者の数	23,016 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	0 人
末梢血単核球移植による血管再生治療	11 人
神経変性疾患の遺伝子診断	16 人
実物大臓器立体モデルによる手術支援	0 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
NKT細胞を用いた免疫療法 肺がん	16 人
ペムトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	2 人
NKT細胞を用いた免疫療法 頭頸部扁平上皮がん	3 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	329人	・膿疱性乾癬	31人
・多発性硬化症	346人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・重症筋無力症	511人	・原発性胆汁性肝硬変	349人
・全身性エリテマトーデス	1316人	・重症急性膵炎	40人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	64人
・再生不良性貧血	145人	・混合性結合組織病	233人
・サルコイドーシス	865人	・原発性免疫不全症候群	31人
・筋萎縮性側索硬化症	61人	・特発性間質性肺炎	42人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	679人	・網膜色素変性症	668人
・特発性血小板減少性紫斑病	323人	・プリオン病	4人
・結節性動脈周囲炎	77人	・肺動脈性肺高血圧症	192人
・潰瘍性大腸炎	694人	・神経線維腫症	65人
・大動脈炎症候群	73人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	52人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	9人
・天疱瘡	197人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	41人
・脊髄小脳変性症	221人	・ライゾゾーム病	12人
・クローン病	293人	・副腎白質ジストロフィー	5人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	21人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	285人
・悪性関節リウマチ	95人	・脊髄性筋萎縮症	64人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	702人	・球脊髄性筋萎縮症	34人
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	95人
・アミロイドーシス	89人	・肥大型心筋症	193人
・後縦靭帯骨化症	473人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	10人	・ミトコンドリア病	6人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	59人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	9人
・ウェゲナー肉芽腫症	155人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	164人	・黄色靭帯骨化症	73人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	66人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシン グ病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	787人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診療料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療環境体制加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院 7対1入院基本料 一般病棟	・退院調整加算
・特定機能病院 13対1入院基本料 精神病棟	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・臨床研修病院入院診療加算(歯科診療以外)	・救急搬送患者地域連携受入加算
・臨床研修病院入院診療加算(歯科診療に限る)	・総合評価加算
・救急医療管理加算	・データ提出加算2(イ)
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料4
・妊産婦緊急搬送入院加算	・特定集中治療室管理料 小児加算
・診療録管理体制加算1	・新生児特定集中治療室管理料1
・25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割以上)	・新生児治療回復室入院医療管理料
・看護職員夜間配置加算	・小児入院医療管理料2
・看護補助加算2 精神病棟	・小児入院医療管理料 プレイルーム加算
・療養環境加算	
・重症者等療養環境特別加算	
・無菌治療室管理加算1	
・無菌治療室管理加算2	
・緩和ケア診療加算	
・精神科身体合併症管理加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・がん診療連携拠点病院加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1	
・感染防止対策地域連携加算	
・患者サポート体制充実加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

NO.1

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料 (植込型除細動器移行期加算)	・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・高度難聴指導管理料	・検体検査管理加算(I)
・糖尿病合併症管理料	・検体検査管理加算(IV)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・遺伝カウンセリング加算
・がん患者指導管理料1	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん患者指導管理料2	・植込型心電図検査
・がん患者指導管理料3	・時間内歩行試験
・外来緩和ケア管理料	・胎児心エコー法
・移植後患者指導管理料 1. 臓器移植後の場合	・ヘッドアップティルト試験
・糖尿病透析予防指導管理料	・皮下連続式グルコース測定
・夜間休日救急搬送医学管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・外来リハビリテーション診療料	・神経学的検査
・外来放射線照射診療料	・補聴器適合検査
・ニコチン依存症管理料	・ロービジョン検査判断料
・地域連携診療計画管理料	・コンタクトレンズ検査料1
・がん治療連携計画策定料	・小児食物アレルギー負荷検査
・がん治療連携管理料	・内服・点滴誘発試験
・認知症専門診断管理料	・センチネルリンパ節生検1, 2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・薬剤管理指導料	・画像診断管理加算1
・医療機器安全管理料1	・遠隔画像診断
・医療機器安全管理料2	・ポジトロン断層撮影
・歯科治療総合医療管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・持続血糖測定器加算	・冠動脈CT撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・大腸CT撮影加算
・HPV核酸検出	・心臓MRI撮影加算

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

NO.2

施設基準の種類	施設基準の種類
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・骨移植術(軟骨移植を含む) (自家培養軟骨移植術に限る)
・外来化学療法加算1	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る)
・無菌製剤処理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び 脳刺激装置交換術
・心大血管疾患等リハビリテーション料(I)	・脊髄刺激装置埋込術及び脊髄刺激装置交換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))
・運動器リハビリテーション料(I)	・網膜再建術
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・心大血管疾患リハビリテーション料、 脳血管疾患等リハビリテーション料、 運動器リハビリテーション料、 呼吸器リハビリテーション料の初期加算	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)、 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)
・がん患者リハビリテーション料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る) (歯科診療に係るものに限る)、 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る) (歯科診療に係るものに限る)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、 乳がんセンチネルリンパ節加算2
・認知療法・認知行動療法1	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・認知療法・認知行動療法2	・同種死体肺移植術
・精神科ショート・ケア(小規模なもの)	・生体部分肺移植術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料)	・経皮的冠動脈形成術
・医療保護入院等診療料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) (高速回転式アテレクトミーカテーテルによるもの)
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・経皮的冠動脈ステント留置術
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・透析液水質確保加算2	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・磁気による膀胱等刺激法	・植込型心電図記録計移植術及び 植込型心電図記録計摘出術
・一酸化窒素吸入療法	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
・CAD/CAM冠	・両心室ペースメーカー移植術及び 両心室ペースメーカー交換術
以下、手術通則4	・両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び 両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・組織拡張器による再建手術(一連につき) (乳房(再建手術)の場合に限る)	・補助人工心臓

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

NO.3

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・黄斑下手術等
・経皮的動脈遮断術	・鼓室形成手術等
・ダメージコントロール手術	・肺悪性腫瘍手術等
・体外衝撃波胆石破碎術	・経皮的カテーテル心筋焼灼術
・腹腔鏡下肝切除術	・靭帯断裂形成手術等
・生体部分肝移植術	・水頭症手術等
・同種死体肝移植術	・鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等
・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	・尿道形成手術等
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・角膜移植術
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・肝切除術等
・同種死体腎移植術	・子宮附属器悪性腫瘍手術等
・生体腎移植術	・上顎骨形成術等
・膀胱水圧拡張術	・上顎骨悪性腫瘍手術等
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・母指化手術等
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・内反足手術等
・胃瘻造設術	・食道切除再建術等
・輸血管管理料1	・同種腎移植術等
・貯血式自己血輸血管管理体加算	・胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術 (通則4に掲げる手術を除く)
・自己生体組織接着剤作成術	・ペースメーカー移植術
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・ペースメーカー交換術
・内視鏡手術用支援機器加算	・経皮的冠動脈形成術
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・経皮的冠動脈粥腫切除術
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・経皮的冠動脈ステント留置術
以下、手術通則5.6	・人工関節置換術
・頭蓋内腫瘍摘出術等	・乳児外科対象手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

NO.4

施設基準の種類	施設基準の種類
・冠動脈及び大動脈バイパス移植術並びに体外循環を要する手術	・
手術通則5.6 以上	・
	・
・麻酔管理料(I)	・
・麻酔管理料(II)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・直線加速器による定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸移動対策加算(その他のもの)	・
・病理診断管理加算2	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	剖検症例検討会:年間約30回 臨床症例検討会:年間約95回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 33 例 / 剖検率 7.03%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
癌・精巢抗原～腎細胞癌バイオマーカーの探索	巢山貴仁	泌尿器科	¥1,170,000	補 日本学術振興会
三次元画像を用いた前立腺肥大症メカニズムの解析	仲村和芳	泌尿器科	¥1,170,000	補 日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌における機能性RNAネットワークの解明と革新的診断治療シーズ	市川智彦	泌尿器科	¥6,630,000	補 日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌におけるFOXAIの機能解析と予後予測ノモグラムの構築	坂本信一	泌尿器科	¥1,820,000	補 日本学術振興会
細胞移植による肺再生療法実現のためのトランスレーショナル研究	吉野 一郎	呼吸器外科	¥4,160,000	補 文部科学省
分化能を有するⅡ型肺胞上皮細胞による障害肺の改善-肺移植の臨床応用に向けて	吉田 成利	呼吸器外科	¥1,690,000	補 文部科学省
仮想肺組織量を指標とした、肺切除後のリモデリング“代償性肺成長”の検証	溝渕 輝明	呼吸器外科	¥1,170,000	補 文部科学省
特発性肺線維症の原因としての抗V型コラーゲン自己免疫および胃食道逆流症の関与	岩田 剛和	呼吸器外科	¥1,170,000	補 文部科学省
肺移植後の慢性閉塞性細気管支炎の病態解明及び治療法の開発	鈴木 秀海	呼吸器外科	¥1,170,000	補 文部科学省
傷害肺におけるiPS細胞を用いた肺胞再生療法の開発研究	山本 高義	呼吸器外科	¥1,300,000	補 文部科学省
遺伝子改変動物を用いた肺再生・成長の解析	尹 貴正	呼吸器外科	¥1,430,000	補 文部科学省
呼吸器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	吉野 一郎 (分担研究者)	呼吸器外科	¥300,000	補 国立がん研究センター
超音波気管支鏡生検検体を用いた超感度肺癌リンパ節転移検出の開発	中島 崇裕	呼吸器外科	¥2,000,000	補 武田科学振興財団
肺移植後の慢性拒絶反応の病態解明およびその予防法の開発	鈴木 秀海	呼吸器外科	¥300,000	補 ちば県民保健予防財団
肺腫瘍臨床研究班	吉野 一郎 (分担研究者)	呼吸器外科	¥100,000	補 放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター

放射線被曝に由来するDNA過酸化物質・染色体の解析と抗酸化物質による予防法の開発	宇野 隆	放射線科	¥2,210,000	補	文部科学省
子宮頸癌腔内照射における患者の苦痛を軽減し本邦の現状に即した麻酔法の開発と普及	根本未歩	放射線科	¥650,000	補	文部科学省
安全で高精度な放射線治療を実現する放射線治療体制に関する研究	宇野 隆	放射線科	¥600,000	補	厚生労働省
放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究	宇野 隆	放射線科	主任研究者による一括管理	補	厚生労働省
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB) の構築と運用	宇野 隆	放射線科	¥100,000	補	厚生労働省
高精度放射線治療システムの実態調査と臨床評価に関する研究	宇野 隆	放射線科	¥100,000	補	厚生労働省
重粒子線がん治療臨床研究 上部消化器腫瘍臨床研究班	宇野 隆	放射線科	¥100,000	補	放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究 婦人科腫瘍臨床研究班	宇野 隆	放射線科	¥100,000	補	放射線医学総合研究所
放射線医学と数理科学の協働による高度臨床診断の実現	井上幸平	放射線科	¥1,950,000	補	科学技術振興機構
アロマトーゼのアンドロゲン降下作用に着目した新たな排卵誘発法の開発	生水真紀夫	生殖医学	¥13,200,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PCOS治療におけるメホルミンの弱点(内膜抑制作用)克服に向けた研究	生水真紀夫	生殖医学	¥1,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新しいラット脳性麻痺モデルを使った黄体ホルモンの脳障害回避効果の検証(期間延長)	生水真紀夫	生殖医学	¥282,900	補	独立行政法人日本学術振興会
妊婦授乳期における医療用医薬品の使用上の注意の在り方に関する研究	生水真紀夫	生殖医学	¥100,000	補	厚生労働省
メホルミンによる子宮内膜癌の発癌予防に関する研究	三橋暁	生殖医学	¥2,100,000	補	独立行政法人日本学術振興会
侵入奇胎の成因に関与する遺伝子の探索	碓井宏和	生殖医学	¥900,000	補	独立行政法人日本学術振興会

mTORシグナル伝達経路を標的とした、新たな子宮筋腫治療法の開発	石川博士	生殖医学	¥800,000	補	独立行政法人日本学術振興会
卵巣明細胞腺癌の発生機序の解明と予後の検討	錦見恭子	婦人科	¥1,800,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ADAR1による子宮内膜症細胞の癌化メカニズムの解析	鶴岡信栄	周産期母性科	¥1,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
重粒子治療婦人科腫瘍臨床研究班	生水真紀夫	生殖医学	¥200,000	補	科学技術庁
重粒子治療婦人科腫瘍臨床研究班	三橋暁	生殖医学	¥100,000	補	科学技術庁
子宮内膜癌検診の若年者への適用拡大の検討と精度改善のための工夫	生水真紀夫	生殖医学	¥3,000,000	補	財団法人ちば県民保健予防財団
新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「Hib、肺炎球菌、ロタウイルス、HPV等ワクチンの有効性、安全性並びにワクチン副反応に関する基礎的・臨床的研究」	石和田稔彦	感染症管理治療部	400,000円	補	厚生労働省
新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業 研究課題名「ワクチン戦略による麻疹および先天性風疹症候群の排除、およびワクチンで予防可能疾患の疫学並びにワクチンの有用性に関する基礎的臨床的研究	石和田稔彦	感染症管理治療部	1,200,000円	補	厚生労働省
塗抹陽性肺結核治療成績向上のための宿主と細菌学的要因の研究	猪狩 英俊	感染症管理治療部	500,000円	補	ちば県民保健予防財団
免疫療法による花粉症予防と免疫療法のガイドライン作成に向けた研究	岡本 美孝(代表) 櫻井 大樹(分担)	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥12,239,000	補	厚生労働省
アレルギー疾患対策の均てん化に関する研究	岡本 美孝(分担)	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥1,000,000	補	厚生労働省
アレルギー疾患におけるダニ抗原標準化の研究	岡本 美孝(分担)	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥1,000,000	補	厚生労働省
鼻粘膜を介したNKT細胞活性化による頭頸部癌に対するアジュバント療法の開発	岡本 美孝	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥8,100,000	補	文部科学省
核酸医薬の併用による上顎癌新規治療法の確立に向けた基礎的研究	花澤 豊行	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥1,000,000	補	文部科学省
アレルギー特異的IgE型長期生存抗体産生細胞の形成阻害剤の開発	稲嶺 絢子	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥2,009,424	補	文部科学省

頭頸部癌による腫瘍免疫抑制機構の解明と新規治療法の開発	櫻井 大樹	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥1,636,265	補	文部科学省
頭頸部癌アウトカム・リサーチに関する基礎	茶菌 英明	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥1,500,000	補	文部科学省
上気道好酸球性炎症疾患におけるメモリーT細胞とCD69の意義の検討	山本 隆三朗	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥2,426,323	補	文部科学省
骨形成蛋白(rhBMP-2)を用いた側頭骨	杉本 晃	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥800,000	補	文部科学省
唾液腺癌に対するキメラ抗原受容体導入リン	國井 直樹	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥1,900,000	補	文部科学省
NKT細胞免疫系を用いたアレルギー性鼻炎に	米倉 修二	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥1,700,000	補	文部科学省
花粉症に関する環境情報と花粉症症状との関連についての検証	岡本 美孝	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥1,538,461	委	受託研究(ウェザー株式会社)
Lactobacillus planatum YIT0132における免疫調整作用の検討	岡本 美孝	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥4,772,727	委	共同研究(ヤクルト)
舌下免疫療法アジュバンドの研究	岡本 美孝	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥0	委	共同研究(理化学研究所石井班)
頭頸部癌患者に対するiNKT細胞療法、及び免疫療法の効果に影響する免疫応答の網羅の解析	岡本 美孝	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	¥2,000,000	委	共同研究(理化学研究所藤井班)
次世代NKT細胞免疫治療に向けた肺癌微小環境下の抗腫瘍エフェクター機構の解明	本橋 新一郎	未来開拓センター	¥1,820,000	補	文部科学省
非小細胞肺癌に対するNKT細胞を用いた免疫細胞治療の開発研究	本橋 新一郎	未来開拓センター	¥55,575,000	補	厚生労働省
家族性LCAT欠損症患者に対する細胞加工医薬品「LCAT遺伝子導入ヒト前脂肪細胞」の早期実用化にむけた非臨床試験	黒田正幸	未来開拓センター	¥35,000,000	補	厚生労働省
賦活脂肪組織によるアルツハイマー認知症の幹細胞動員修復機構の解明	黒田正幸	未来開拓センター	¥1,560,000	補	文部科学省
CD10化学シグナルとRho力学シグナルによる脂肪幹細胞の多能性維持機構の解明	青柳靖之	細胞治療内科学	¥2,080,000	補	文部科学省

向精神薬の処方や対策に関する実態調査と外部評価システム(臨床評価)に関する研究	伊豫雅臣	精神神経科	研究代表者一括計上	補	厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野))
専門的医療の普及の方策及び資質向上策を含めた医療観察法の効果的な運用に関する研究	伊豫雅臣	精神神経科	¥6,400,000 (分担者配分を含む)	補	厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野))
専門的医療の普及の方策及び資質向上策を含めた医療観察法の効果的な運用に関する研究(分担研究:医療観察法医療に携わる人材の確保と地域特性	椎名明大	精神神経科	¥850,000	補	厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野))
感覚ゲート機構不全に基づいた精神疾患の新規病態解析研究	橋本佐	精神神経科	¥1,000,000	補	文部科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)
精神科入院者の退院促進・地域定着のための多職種チームモデルSACHIKOの開発と有用性検証	渡邊博幸	社会精神保健教育研究センター	¥3,600,000	補	三菱財団寄付金
ドパミン過感受性精神病とGRK/ARRBシステム	金原信久	社会精神保健教育研究センター	¥4,030,000	補	文部科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)
ドパミン過感受性精神病と治療抵抗性統合失調症:その疫学的検証と治療戦略	金原信久	社会精神保健教育研究センター	¥1,000,000	補	公益財団法人先進医薬研究振興財団交付金
うつ病及び摂食障害の認知柔軟性を高める経頭蓋的脳刺激法に関する研究	中里 道子	子どものこころの発達研究センター	¥1,100,000	補	預科研等)学術研究助成基金助成金
大和日英基金助成金	中里 道子	子どものこころの発達研究センター	¥412,000	補	寄付金経費
うま味研究会助成金	中里 道子	子どものこころの発達研究センター	¥1,000,000	補	寄付金経費
心筋前駆細胞移植床による新生心筋の起源と分化・分裂・増殖因子の網羅的解析	永井 敏雄	循環器内科	¥10,010,000	補	文部科学省
内在性心筋幹/前駆細胞の分化誘導因子とニッチ構造の探索	永井 敏雄	循環器内科	¥1,170,000	補	文部科学省
Notchシグナルに着目した新規血管再生治療の開発	舘野 馨	循環器内科	¥1,040,000	補	文部科学省
重症虚血性心疾患に対する末梢血単核球移植による血管再生治療	小林 欣夫	循環器内科	¥22,400,000	補	国立大学法人千葉大学
細胞生物学および分子生物学的手法を用いた肉芽腫形成の分子メカニズム解明	神戸 直智	皮膚科学	¥4,300,000	補	文部科学研究費補助金 基盤研究B

自己炎症性疾患に対する新たな分子細胞生物学的手法を駆使した病態解析・治療基盤開発	神戸 直智 (分担者)	皮膚科学	¥700,000	補	文部科学研究費補助金 基盤研究A
自己炎症疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立	神戸 直智 (分担者)	皮膚科学	¥1,500,000	補	厚生労働科学研究費補助金
悪性黒色腫の単一細胞解析によるがん多様性の研究	松江 弘之	皮膚科学	¥1,693,693	補	文部科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
インフラマソーム活性化によるプログラム細胞死の分子メカニズムの解明	佐藤 貴史	皮膚科学	¥1,069,200	補	文部科学研究費補助金 若手研究B
患者抜去毛包む角化細胞由来の3次元培養表皮を使用したTEN/SJSモデルの開発	鎌田 憲明	皮膚科	¥2,900,000	補	文部科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
転写抑制因子として機能するセリン/スレオニンキナーゼの肉芽腫形成への影響	中野 倫代	皮膚科	¥2,300,000	補	文部科学研究費補助金 若手研究B
生体適合性ナノファイバーによる自己組織完全再生を目指した人工血管の開発	石坂 透	心臓血管外科	¥1,950,000	補	文部科学省
インターロイキン-11を用いた新規心臓血管外科治療法の確立	黄野 皓木	心臓血管外科	¥520,000	補	文部科学省
慢性血栓性肺高血圧症における血栓器質化機序解明と新しい画像診断法の確立	石田 敬一	心臓血管外科 (冠動脈疾患治療部)	¥2,730,000	補	文部科学省
脂肪組織幹細胞由来心筋細胞シート移植 -大動物心不全モデルによる前臨床試験-	松宮 護郎	心臓血管外科	¥2,990,000	補	文部科学省
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	山本 修一	眼科	¥2,000,000	補	厚生労働省
網膜色素変性患者の遺伝子診断システム構築	山本 修一	眼科	¥100,000	補	文部科学省
眼内血管新生に対するVEGF-A165b	馬場 隆之	眼科	¥2,325,055	補	文部科学省
糖尿病網膜症における神経軸索変性の神経軸	忍足 俊幸	眼科	¥1,500,000	補	文部科学省
バート・ホッグ・デューベ症候群: 関連病変の分子病理学的探索と診断法の確立	中谷行雄	病理部	¥1,130,000	補	日本学術振興会 科学研究費

Birt-Hogg-Dube症候群の病態解明と包括的診療体制の確立	中谷行雄	病理部	¥11,700,000	補	厚生労働科学研究費
ポリオーマウイルス関連腫瘍の腫瘍発生の機序解明:メルケル細胞ウイルスから迫る	太田聡	病理部	¥1,560,000	補	日本学術振興会科学研究費
軸索興奮性測定を用いた糖尿病性神経障害、慢性疼痛の客観的評価と至適治療の確立	桑原 聡	神経内科	¥1,300,000	補	文部科学省
胃電図を用いたレビー小体型認知症とアルツハイマー病の鑑別法の確立	朝比奈正人	神経内科	¥4,160,000	補	文部科学省
視神経脊髄炎患者血清中抗アクアポリン4抗体の抗原決定部位の解明	森 雅裕	神経内科	¥2,210,000	補	文部科学省
糖尿病性神経障害による疼痛の効率的治療戦略の構築	三澤 園子	神経内科	¥2,600,000	補	文部科学省
HMGB1の視神経脊髄炎の病態への関与の解明及び新規治療標的としての応用	鶴沢 顕之	神経内科	¥1,950,000	補	文部科学省
効率的治療法確立を目的とした糖尿病性神経障害の疼痛機序の生理学的検討	関口 縁	神経内科	¥1,690,000	補	文部科学省
SEREX/CEREX法によるMS患者血清/髄液中、新規自己抗原の検索	武藤 真弓	神経内科	¥2,990,000	補	文部科学省
免疫性神経疾患に関する調査研究班	桑原 聡	神経内科	¥1,650,000	補	厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究班	桑原 聡	神経内科	¥1,300,000	補	厚生労働省
スモンに関する調査研究班	朝比奈正人	神経内科	¥900,000	補	厚生労働省
特発性発汗異常症・色素異常症の病態解析と新規治療薬開発に向けた戦略的	朝比奈正人	神経内科	¥1,000,000	補	厚生労働省
アトピー関連脳脊髄・末梢神経障害の病態解明と画期的治療法の開発	桑原 聡	神経内科	¥1,000,000	補	厚生労働省
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究	桑原 聡	神経内科	¥700,000	補	厚生労働省

Crow-Fukase症候群に対するサリドマイドの有効性を検討するためのプラセボ対照二重盲検	桑原 聡	神経内科	¥83,492,000	補	厚生労働省
治験の実施に関する研究〔サリドマイド〕	桑原 聡	神経内科	¥2,400,000	補	厚生労働省
治験の実施に関する研究〔酢酸リユープロレリン（追加第II相試験）〕	山本 達也	神経内科	¥2,600,000	補	厚生労働省
B型肝炎ウイルスe抗体陽性無症候性キャリアの長期予後に関する検討	横須賀 収	消化器内科	¥26,000,000	補	厚生労働省
B型肝炎、C型肝炎による病態と自然免疫に関する研究	横須賀 収	消化器内科	¥1,200,000	補	文部科学省
予後改善を目指した膵悪性腫瘍の統合的病態解明と新規治療標的の探索	石原 武	消化器内科	¥1,800,000	補	文部科学省
肝癌、膵癌における核内受容体と小胞体ストレスの相互作用に関する研究	神田 達郎	消化器内科	¥1,600,000	補	文部科学省
非アルコール性脂肪肝炎に対する非侵襲的診断支援システムの構築	丸山 紀史	消化器内科	¥1,600,000	補	文部科学省
腸管粘膜上皮層バリア機能を制御するアミノ酸の同定および作用機序の解明	勝野 達郎	消化器内科	¥1,100,000	補	文部科学省
正常肝臓および肝癌におけるヒストメチル化酵素ESETの幹細胞制御機構の解明	千葉 哲博	消化器内科	¥1,500,000	補	文部科学省
主観的および客観的評価に基づく、苦痛の少ない内視鏡検査の確立に向けて検討	横須賀 収	消化器内科	¥2,000,000	補	公益財団法人 ちば県民保健予 防財団
肝癌幹細胞治療薬としての嫌酒薬ジスルフィラムの有用性の検証	千葉 哲博	消化器内科	¥1,000,000	補	公益財団法人 国際科学振興財 団
胆道閉鎖症における制御性T細胞の機能解析	齋藤 武	小児外科	¥1,600,000	補	文部科学省
直腸肛門奇形モデルマウスを使用した肛門形成シグナルの探求	中田光政	小児外科	¥1,600,000	補	文部科学省
神経芽腫における抗体を併用したNKT細胞免疫治療の開発研究	三瀬直子	小児外科	¥2,000,000	補	文部科学省

小児悪性個形腫瘍に対するNKT細胞免疫系を用いた新規免疫細胞療法の開発研究	吉田英生(分担)	小児外科	¥100,000	補	文部科学省
腫瘍スフェア形成機構の網羅的・遺伝的解析によるがん幹細胞特異的療法の開発	吉田英生(分担)	小児外科	¥150,000	補	文部科学省
胎児・新生児肺低形成の診断・治療実態に関する研究	吉田英生(分担)	小児外科	¥400,000	補	厚生労働省
ゲノムワイド関連解析に基づく重症敗血症の個別化医療に関する研究	中田 孝明	救急集中治療医学	¥1,600,000	補	文部科学省
高精度統合型救急医療情報通信システムの開発プロジェクト	織田 成人	救急集中治療医学	¥400,000	補	文部科学省
次世代シーケンサーを用いたエクソーム解析による急性期DIC患者の遺伝的素因の解明	松村 洋輔	救急科・集中治療部	¥1,400,000	補	文部科学省
マウス頭部外傷モデルにおける軸索可塑性を介した神経機能回復とTNF α の関与	大島 拓	救急科・集中治療部	¥2,100,000	補	文部科学省
侵襲に伴う過剰な血管透過性亢進を制御する新規治療法の開発	中田 孝明	救急集中治療医学	¥800,000	補	文部科学省
心肺停止蘇生後症候群の予後予測因子としての遺伝子多型の関与に関する研究	渡邊 栄三	救急集中治療医学	¥1,600,000	補	文部科学省
ICG-Liposomeを用いた脳腫瘍の新規免疫療法	岩立 康男	脳神経外科	¥1,400,000	補	日本学術振興会
アカデミック臨床s研究機関(ARO)によるプロジェクト管理型Investigator Initiated Trial(IIT)	花岡 英紀	臨床試験部	¥90,000,000	補	厚労省
革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業	花岡 英紀	臨床試験部	¥38,500,000	補	厚労省
臨床研究中核病院事業費	花岡 英紀	臨床試験部	¥258,614,000	補	厚労省
受託事業費(アールテックウエノ)	花岡 英紀	臨床試験部	¥8,400,000	委	文科省
ER陽性乳がん細胞増殖へのtransporterの役割とその診断意義に関する検討	有吉 範高	薬剤部	¥600,000	補	公益財団法人薬学研究奨励財団

がん治療に伴う口内炎の疼痛改善を目的とした口腔内製剤の検討	佐伯 宏美	薬剤部	¥300,000	補	日本学術振興会
造血幹細胞移植・骨髄移植前処置における制吐療法の最適化に向けて	今井 千晶	薬剤部	¥600,000	補	日本学術振興会
生体部分肝移植患者におけるバンコマイシンの薬物動態	山崎 伸吾	薬剤部	¥600,000	補	日本学術振興会
リウマチ疾患でsynbioticsが腸管/全身性免疫とTGF-β産生に及ぼす影響	竹田 真理子	薬剤部	¥600,000	補	日本学術振興会
クロザリル使用患者の白血球減少に対する炭酸リチウム使用の安全性と有効性の検討	築地 茉莉子	薬剤部	¥600,000	補	日本学術振興会
医薬品と臨床検査値との禁忌データベースの開発	橋本 杏里	薬剤部	¥300,000	補	日本学術振興会
家族性LCAT欠損症患者に対する細胞加工医薬品「LCAT遺伝子導入ヒト前脂肪細胞」の早期実用化にむけた非臨床試験	黒田正幸	未来開拓センター	¥35,000,000	補	厚生労働省
賦活脂肪組織によるアルツハイマー認知症の幹細胞動員修復機構の解明	黒田正幸	未来開拓センター	¥1,560,000	補	文部科学省
CD10化学シグナルとRho力学シグナルによる脂肪幹細胞の多能性維持機構の解明	青柳靖之	細胞治療内科学	¥2,080,000	補	文部科学省
早老症の病態解明、診断・治療法の確立と普及を目的とした全国研究 (研究代表者)	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥3,900,000	補	厚生労働省
日本人2型糖尿病患者における生活習慣介入の長期予後効果並びに死亡率とその危険因子に関する前向き研究(JDCS) (研究分担者)	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥500,000	補	厚生労働省
患者データベースに基づく糖尿病の新規合併症マーカーの探索と均てん化に関する研究-合併症予防と受信中断抑止の視点から (研究分担者)	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥450,000	補	厚生労働省
被災地の再生を考慮した在宅医療の構築に関する研究 (研究分担者)	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥2,000,000	補	厚生労働省
特定健診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究 (研究分担者)	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥400,000	補	厚生労働省
保健指導等を活用した総合的な糖尿病治療の年代別要因を踏まえた研究 (研究分担者)	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥250,000	補	厚生労働省

早老症候群の疾患iPS細胞樹立と加齢性変化の分子メカニズム解明	横手幸太郎 (研究代表者)	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥910,000	補	文部科学省
生活習慣病形成におけるリンパ管システム破綻の役割の解明	横手幸太郎 (研究代表者)	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥4,300,000	補	文部科学省
セマフォリン3g遺伝子解析による生活習慣病の機序解明と新しいバイオマーカーの開発	竹本稔	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥900,000	補	文部科学省
転写因子p53のタンパクコードと細胞内代謝エネルギー制御機構	田中知明	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥3,600,000	補	文部科学省
肥満・NASHをターゲットにした癌抑制遺伝子p53に役割と新たな創薬標的探索	田中知明	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥2,200,000	補	文部科学省
老化細胞分泌因子の代謝疾患との関係解明とその臨床応用への検討	田中知明	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥9,500,000	補	JST
分子間架橋を応用したNFATc1複合体解析による骨エピジェネティクスの基盤的研究	田中知明 (研究分担者)	糖尿病・代謝・内分泌内科	¥1,400,000	補	文部科学省
セマフォリン3gの解析を通じた心腎連関の機序解明	小林一貴	糖尿病・代謝・内分泌内科(地域災害医療学寄附講座)	¥1,400,000	補	文部科学省
硬変肝切除後の類洞再生遅延の分子機構と血管内皮前駆細胞導入による肝再生促進の研究	清水宏明	肝胆膵外科	¥1,200,000	補	文部科学省
癌源細胞を中心とした細胞分化・脱分化によるde novo原発性肝癌とその制御	大塚将之	肝胆膵外科	¥1,560,000	補	文部科学省
至適肝容積を超えた過大肝再生誘導における肝再生機構および肝幹・前駆細胞の機能解析	加藤 厚	肝胆膵外科	¥2,210,000	補	文部科学省
組織幹細胞マーカーによる膵癌幹細胞の同定と周囲微小環境との相互作用の解明	吉富秀幸	肝胆膵外科	¥1,560,000	補	文部科学省
免疫栄養療法による高度侵襲手術に対するリスク軽減のための治療戦略	古川勝規	肝胆膵外科	¥800,000	補	文部科学省
骨形成蛋白(BMP7)による新たな生体肝移植後過小グラフト対策の開発	高屋敷 吏	肝胆膵外科	¥1,820,000	補	文部科学省
がん登録からみたがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究 ー診療動向と治療成績の変化ー	宮崎 勝	肝胆膵外科	¥1,150,000	補	がん臨床研究事業分担研究費

放射線医学総合研究所 臨床研究経費 肝腫瘍臨床研究班	大塚将之	肝胆膵外科	¥100,000	補	放射線医学総合研究所 臨床研究経費
腫瘍免疫応答を用いた腋窩リンパ節転移陽性乳癌の腋窩ステージング	鈴木ティベリウ浩志	乳腺甲状腺外科	¥1,560,000	補	日本学術振興会 (学術研究助成基金助成金)
独自開発ウイルス成分とのハイブリッドリポソームによる癌の新規分子標的治療薬の開発	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	¥12,350,000	補	文部科学省
口腔癌患者末梢血中の循環ミトコンドリアDNAモニタリングによる予後判定法の開発	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	¥2,080,000	補	文部科学省
転写因子群導入による脂肪由来間葉系幹細胞の唾液腺分化誘導法の開発	鶴澤 一弘	歯科・顎・口腔外科	¥1,820,000	補	文部科学省
口腔癌におけるlong non coding RNAの役割と臨床的意義の検討	椎葉 正史	歯科・顎・口腔外科	¥6,760,000	補	文部科学省
唾液腺細胞の継代安定培養法を用いた唾液分泌細胞再生療法の開発	笠松 厚志	歯科・顎・口腔外科	¥2,840,000	補	文部科学省
CEA遺伝子familyの癌と周囲組織における発現と相互作用の検討	小池 博文	歯科・顎・口腔外科	¥1,820,000	補	文部科学省
歯学分野にかかる学術研究動向に関する調査	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	¥1,690,000	補	日本学術振興会
細胞接着ネットワーク制御による癌転移・浸潤抑制	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	¥1,700,000	補	JST
唾液腺細胞の継代安定培養法を用いた唾液分	鶴澤 一弘	歯科・顎・口腔外科	¥1,700,000	補	JST
未来医療研究人材養成拠点形成事業(リサーチマインドを持った総合診療医の養成:テーマB)超高齢社会に対応する総合診療医養成事業-地域と大学でロールモデルを継続的に育てる仕組みを作る-	生坂政臣	総合診療部	¥89,420,000	補	文部科学省
患者再現VTRを利用したPBLチュートリアルの有用性に関する研究	生坂政臣	総合診療部	¥1,170,000	補	日本学術振興会
千葉県総合診療医養成環境整備事業	生坂政臣	総合診療部	¥684,000	補	千葉県
健康成人におけるかかりつけ医の有無が健康関連QOLに与える影響に関する検討	大平善之	総合診療部	¥3,100,000	補	日本学術振興会

医療機関選択に寄与する情報方法および情報の内容に関する検討	大平善之	総合診療部	¥1,680,000	補	厚生労働省
難治性喘息のTh17型気道炎症における気道上皮細胞および樹状細胞の役割の解明	中島裕史	アレルギー・膠原病内科	¥7,228,000	補	科学研究費補助金
C型レクチンによる気管支喘息発症抑制機構の解明	廣瀬晃一	アレルギー・膠原病内科	¥1,700,000	補	科学研究費補助金
濾胞ヘルパーT細胞の分化及び関節リウマチの発症におけるBCL-3の役割の解明	鈴木浩太郎	アレルギー・膠原病内科	¥1,500,000	補	科学研究費補助金
Soxファミリー分子による自己免疫疾患制御機構に関する研究	須藤明	アレルギー・膠原病内科	¥1,300,000	補	科学研究費補助金
CD4陽性T細胞の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチの新規治療標的の同定	池田啓	アレルギー・膠原病内科	¥1,300,000	補	科学研究費補助金
アレルギー性気道炎症におけるFOXP3陽性制御性自然免疫細胞の役割の解明	高取 宏昌	アレルギー・膠原病内科	¥1,700,000	補	科学研究費補助金
重症喘息におけるIL-23産生樹状細胞誘導機構の解明	玉地智宏	アレルギー・膠原病内科	¥3,200,000	補	科学研究費補助金
関節リウマチにおけるARID5の役割の解明	古田俊介	アレルギー・膠原病内科	¥1,500,000	補	科学研究費補助金
喘息の気道上皮細胞におけるステロイド抵抗性獲得機構に関する研究	横田雅也	アレルギー・膠原病内科	¥1,900,000	補	科学研究費補助金
アレルギー性気道炎症における蛋白シトルリン化の病的意義の解明	前澤裕子	アレルギー・膠原病内科	¥1,700,000	補	科学研究費補助金
呼吸不全に関する調査研究	巽 浩一郎	呼吸器内科学	¥1,000,000	補	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
薬剤性肺障害に関する包括的研究	巽 浩一郎	呼吸器内科学	¥300,000	補	厚生労働科学研究費補助金 医薬品・医療機器等レギュトリーサイエンス総合研究事業
肺静脈閉塞症(PVOD)の診断基準確立と治療方針作成のための統合研究	田邊 信宏	呼吸器内科学	¥200,000	補	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
肺静脈閉塞症(PVOD)の診断基準確立と治療方針作成のための統合研究	坂尾 誠一郎(病)	呼吸器内科学	¥200,000	補	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業

成人発症型末梢性肺動脈狭窄症の全国的実態把握と効果的診断治療法の研究	巽 浩一郎	呼吸器内科学	¥1,000,000	補	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
慢性肺気腫症の病態解析とCD40抑制による新規治療法の開発	多田 裕司(病)	呼吸器内科学	¥1,100,000	補	日本学術振興会 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金
呼吸における神経可塑性の役割—睡眠中の上気道開存について	寺田 二郎	呼吸器内科学	¥1,000,000	補	日本学術振興会 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金
肺高血圧症の肺血管病変をターゲットとしたバイオマーカーの開発と遺伝子的素因の解析	田邊 信宏	呼吸器内科学	¥1,700,000	補	日本学術振興会 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金
肺動静瘻に対するカテーテル治療の改良と遺伝子解析	笠原 靖紀(病)	呼吸器内科学	¥1,500,000	補	日本学術振興会 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金
慢性閉塞性肺疾患などの生活習慣病の精度の高いスクリーニングに関する調査研究	巽 浩一郎	呼吸器内科学	¥3,000,000	補	公益財団法人ちば県民保健予防財団 平成26年度調査研究事業
重粒子線がん治療臨床研究班臨床試験	巽 浩一郎	呼吸器内科学	¥100,000	補	独立行政法人放射線医学総合研究所 臨床試験経費
重粒子線がん治療臨床研究班上部消化器腫瘍臨床研究班	松原久裕	食道・胃腸外科	200,000円	補	放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班下部消化管腫瘍臨床研究班	松原久裕	食道・胃腸外科	200,000円	補	放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班上部消化器腫瘍臨床研究班	阿久津泰典	食道・胃腸外科	100,000円	補	放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班下部消化管腫瘍臨床研究班	宮内英聡	食道・胃腸外科	100,000円	補	放射線医学総合研究所
鎮静下胃内視鏡的粘膜下層剥離術中の患者唾液アミラーゼによる術中管理システムの構築	上里 昌也	食道・胃腸外科	800,000円	補	日本学術振興会
miR-203を介した食道癌の増殖・浸潤・転移の発現・機能解析	森 幹人	食道・胃腸外科	1,500,000円	補	日本学術振興会
早期診断マルチバイオマーカー開発(血中エクソソームの定量プロテオーム解析による新規腫瘍マーカーの開発における検体収集、候補分子評価)	松原久裕 (分担研究者)	食道・胃腸外科	2,272,728円	補	文部科学省受託研究(JST・松原)
[基金] エピジェネティクス制御の解析を基軸とした食道癌の診断・治療法の開発	星野 敢	食道・胃腸外科	1,300,000円	補	学術研究助成基金

[補助金] エピジェネティクス制御の解析を基軸とした食道癌の診断・治療法の開発	星野 敢	食道・胃腸外科	3,200,000円	補	文部科学省
転写因子Fra-1の上皮間葉転換(EMT)を中心とした機能解析	星野 敢	食道・胃腸外科	1,200,000円	補	学術研究助成基金
ナノ化デキストラン・マグネタイトを用いた食道癌に対する誘導温熱免疫療法	阿久津 泰典	食道・胃腸外科	1,200,000円	補	学術研究助成基金
食道癌におけるactin束化タンパクfascinの機能解析および分子標的薬の探索	赤沼 直毅	食道・胃腸外科	1,900,000円	補	学術振興会
キナーゼ活性化レベル測定SRM法による抗EGFR抗体薬効果予測診断法の開発	松原久裕 (分担研究者)	食道・胃腸外科	主任研究者による一括管理	補	厚生労働省
キナーゼ活性化レベル測定SRM法による抗EGFR抗体薬効果予測診断法の開発	星野 敢 (分担研究者)	食道・胃腸外科	主任研究者による一括管理	補	厚生労働省
蛍光化抗体を用いた先端的テーラーメイド型医療法開発	星野 敢	食道・胃腸外科	500,000円	補	公益財団法人 安田記念医学財団

計 7

合計 217

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Chiba T	消化器内科	Circulating cancer stem cells: a novel prognostic predictor of hepatocellular carcinoma	. Hepatobiliary Surg Nutr. 2013 Feb;2(1):4-6
2	Wu S	消化器内科	Ultra-deep sequencing analysis of the hepatitis A virus 5'-untranslated region among cases of the same outbreak from a single source.	Int J Med Sci. 2013 Dec 20;11(1):60-4
3	Wu S	消化器内科	Hepatitis C virus protease inhibitor-resistance mutations: our experience and review.	World J Gastroenterol. 2013 Dec 21;19(47):8940-8.
4	Kanogawa N	消化器内科	Acute Liver Failure Occurring during the First Trimester of Pregnancy Successfully Treated with Living Donor Liver Transplantation.	Case Rep Transplant. 2013
5	Maruyama H	消化器内科	Sonographic and clinical features of collateral vessels at the splenic hilum in cirrhosis.	Clin Radiol. 2014 Mar;69(3):e140-5.
6	Nakamura M	消化器内科	No correlation between PNPLA3 rs738409 genotype and fatty liver and hepatic	PLoS One. 2013 Dec 11;8(12):e81312.
7	Okimoto K	消化器内科	Efficacy of transcatheter arterial chemoembolization with miriplatin-lipiodol water-soluble contrast agent emulsion in patients with hepatocellular carcinoma.	Anticancer Res. 2013 Dec;33(12):5603-9.
8	Sudo K	消化器内科	Randomized controlled study of gemcitabine plus S-1 combination chemotherapy versus gemcitabine for unresectable pancreatic cancer.	Cancer Chemother Pharmacol. 2014 Feb;73(2):389-96
9	Miyamura T	消化器内科	IL-28B polymorphisms and treatment response in hepatitis C virus patients with persistently normal alanine aminotransferase.	World J Hepatol. 2013 Nov 27;5(11):635-41.
10	Motoyama T	消化器内科	Successful non-surgical treatment of ruptured pyogenic liver abscess. I	Intern Med. 2013;52(23):2619-22.
11	Kanda T	消化器内科	Antiviral therapy for "difficult-to-treat" hepatitis C virus-infected patients.	Chin Med J (Engl). 2013 Dec;126(23):4568-74.
12	Fujiwara K	消化器内科	Corticosteroid for severe acute exacerbation of chronic hepatitis B.	Eur J Gastroenterol Hepatol. 2013 Dec;25(12):1492.
13	Fujiwara K	消化器内科	Letter: treatment of autoimmune acute liver failure—beyond consensus guidelines.	Aliment Pharmacol Ther. 2013 Nov;38(9):1143-4.
14	Sakai Y	消化器内科	. Long term outcome of the WallFlex partially covered stent for unresectable malignant biliary obstruction: a multicenter single-arm prospective study.	Hepatogastroenterology. 2013 Oct 2;60(128).
15	Wu S	消化器内科	Prevalence of hepatitis C virus subgenotypes 1a and 1b in Japanese patients: ultra-deep sequencing analysis of HCV NS5B genotype-specific region.	PLoS One. 2013 Sep 17;8(9):e73615.

16	Tawada K	消化器内科	Comparison of branch duct and main pancreatic duct mural nodules in intraductal papillary mucinous neoplasm.	Pancreas. 2013 Oct;42(7):1193-5.
17	Suzuki E	消化器内科	ncofetal gene SALL4 in aggressive hepatocellular carcinoma.	N Engl J Med. 2013 Sep 19;369(12):1170-1.
18	Maruyama H	消化器内科	The Potential of Transabdominal 3D Color Doppler Ultrasonography for Diagnosis of Gastric Varices.	J Clin Gastroenterol. 2013 Sep 16. [Epub ahead of print]
19	Kanda T	消化器内科	gene expression in HepG2 cells.	Cytokine. 2013 Nov;64(2):577-83.
20	Nishikawa T	消化器内科	Preoperative assessment of longitudinal extension of cholangiocarcinoma with peroral video-cholangioscopy: A prospective study.	Dig Endosc. 2013 Aug 25. [Epub ahead of print]
21	Sazuka S	消化器内科	Fibrocytes Are Involved in Inflammation as well as Fibrosis in the Pathogenesis of Crohn's Disease.	Dig Dis Sci. 2014 Apr;59(4):760-8. Epub 2013 Aug 22.
22	Fujiwara K	消化器内科	Radiologic and histologic heterogeneity in a case of autoimmune acute liver failure.	Clin Gastroenterol Hepatol. 2014 Mar;12(3):e19-20. 2013. 08. 011. Epub 2013 Aug 17.
23	Kondo R	消化器内科	The Liver Cancer Study Group of Kyushu. Pathological characteristics of patients who develop hepatocellular carcinoma with negative results of both serous hepatitis B surface antigen and hepatitis C virus antibody.	Hepatol Res. 2013 Aug 13. [Epub ahead of print]
24	Saito T	消化器内科	Metformin, a diabetes drug, eliminates tumor-initiating hepatocellular carcinoma cells.	PLoS One. 2013 Jul 29;8(7)
25	Sakai Y	消化器内科	Hypertonic saline-epinephrine local injection therapy for post-endoscopic sphincterotomy bleeding: removal of blood clots using pure ethanol local injection.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2013 Aug;23(4):e156-9.
26	Maruyama H	消化器内科	Effects of inferior mesenteric vein flow in patients with cirrhosis.	Clin Gastroenterol Hepatol. 2013 Dec;11(12):1648-54.
27	Tsuboi M	消化器内科	Utility and stability of transnasal endoscopy for examination of the pharynx - a prospective study and comparison with transoral endoscopy.	Int J Med Sci. 2013 Jul 3;10(9):1085-91.
28	Mandai Y	消化器内科	Distinct Roles for CXCR6(+) and CXCR6(-) CD4(+) T Cells in the Pathogenesis of Chronic Colitis.	PLoS One. 2013 Jun 19;8(6):e65488.
29	Nishikawa T	消化器内科	Factors affecting the accuracy of endoscopic transpapillary sampling methods for bile duct cancer.	Dig Endosc. 2014 Mar;26(2):276-81. Epub 2013 Jul 5.
30	Nakamura M	消化器内科	Alanine aminotransferase elevation during peginterferon alpha-2a or alpha-2b plus ribavirin treatment.	Int J Med Sci. 2013 Jun 15;10(8):1015-21.

31	Miyamura T	消化器内科	Acute liver failure associated with propylthiouracil in a pregnant 26-year-old woman.	Case Rep Gastroenterol. 2013 May 25;7(2):240-4.
32	Tsuboi M	消化器内科	Utility of unsedated transnasal endoscopy for pharyngeal observation during esophagogastroduodenoscopy. A prospective study to assess cardiopulmonary function.	Scand J Gastroenterol. 2013 Jul;48(7):884-9.
33	Maruyama H	消化器内科	The application of transabdominal 3D ultrasound for the diagnosis of gastric varices: a preliminary study.	Eur J Radiol. 2013 Sep;82(9):e400-4. Epub 2013 May 22.
34	Takada N	消化器内科	Platelet count and sustained virological response in hepatitis C treatment.	World J Hepatol. 2013 Apr 27;5(4):182-8.
35	Okimoto K	消化器内科	Successful resection of intracranial metastasis of hepatocellular carcinoma.	Case Rep Gastroenterol. 2013 Mar 28;7(1):182-7.
36	Fujiwara K	消化器内科	Efficacy of high-dose corticosteroid in the early stage of viral acute liver failure.	Hepatol Res. 2013 Apr 26.
37	Jiang X	消化器内科	Lipopolysaccharide blocks induction of unfolded protein response in human hepatoma cell lines.	Immunol Lett. 2013 Apr;152(1):8-15.
38	Kanda T	消化器内科	Treatment of hepatitis C virus infection in the future.	Clin Transl Med. 2013 Apr 11;2(1):9.
39	Miyauchi T	消化器内科	Efficacy of lamivudine or entecavir against virological rebound after achieving HBV DNA negativity in chronic hepatitis B patients.	Int J Med Sci. 2013;10(6):647-52.
40	Matsumura T	消化器内科	Changes in plasma ghrelin and serum leptin levels after Cisplatin-based transcatheter arterial infusion chemotherapy for hepatocellular carcinoma.	ISRN Gastroenterol. Epub 2013 Mar 7.
41	Kamezaki H	消化器内科	Adherence to medication is a more important contributor to viral breakthrough in chronic hepatitis B patients treated with entecavir than in those with Lamivudine.	Int J Med Sci. 2013;10(5):567-74. Epub 2013 Mar 15.
42	Haga Y	消化器内科	Simultaneous resection of disseminated hepatocellular carcinoma and colon cancer.	Case Rep Gastroenterol. 2013 Jan;7(1):37-43. Epub 2013 Jan 23.
43	Sekimoto T	消化器内科	. Virtual laparoscopy: Initial experience with three-dimensional ultrasonography to characterize hepatic surface features.	Eur J Radiol. 2013 Jun;82(6):929-34. Epub 2013 Feb 28.
44	Maruyama H	消化器内科	Pretreatment microbubble-induced enhancement in hepatocellular carcinoma predicts intrahepatic distant recurrence after radiofrequency ablation.	AJR Am J Roentgenol. 2013 Mar;200(3):570-7.
45	Katsuno T	消化器内科	Letter: factors that may predict response to ciclosporin in ulcerative colitis - authors' reply.	Aliment Pharmacol Ther. 2013 Mar;37(6):655.

46	Maruyama H	消化器内科	De novo portal vein thrombosis in virus-related cirrhosis: predictive factors and long-term outcomes.	Am J Gastroenterol. 2013 Apr;108(4):568-74. Epub 2013 Feb 5.
47	Minemura S	消化器内科	A primary arterio enteric fistula with Takayasu arteritis.	Intern Med. 2013;52(3):359-62. Epub 2013 Feb 1
48	Sakai Y	消化器内科	Can endoscopic sphincterotomy be performed safely in elderly patients aged 80 years or older with pancreatic and biliary diseases?	Hepatogastroenterology. 2013 Sep;60(126):1251-6.
49	Maruoka D	消化器内科	Clinical outcomes of endoscopic resection for nonampullary duodenal high-grade dysplasia and intramucosal carcinoma.	Endoscopy. 2013;45(2):138-41.. Epub 2013 Jan 15.
50	Kanda T	消化器内科	Peginterferon Alfa-2a plus ribavirin in Japanese patients infected with hepatitis C virus genotype 2 who failed previous interferon therapy.	Int J Med Sci. 2013;10(1):43-9. Epub 2012 Dec 10.
51	Nishikawa T	消化器内科	Comparison of the diagnostic accuracy of peroral video-cholangioscopic visual findings and cholangioscopy-guided forceps biopsy findings for indeterminate biliary lesions: a prospective study.	Gastrointest Endosc. 2013 Feb;77(2):219-26. Epub 2012 Dec 8.
52	Ooka Y	消化器内科	Gadoxetic acid-enhanced MRI compared with CT during angiography in the diagnosis of hepatocellular carcinoma.	Magn Reson Imaging. 2013 Jun;31(5):748-54. Epub 2012 Dec 5.
53	Katsuno T	消化器内科	Letter: should colectomy be the end-point to evaluate the effectiveness of drug therapies in severe ulcerative colitis? Authors' reply	Aliment Pharmacol Ther. 2013 Jan;37(1):161
54	Saito M	消化器内科	Use of F-18 fluorodeoxyglucose positron emission tomography with dual-phase I maging to identify intraductal papillary mucinous neoplasm.	Clin Gastroenterol Hepatol. 2013 Feb;11(2):181-6. Epub 2012 Nov 6.
55	Takahashi M	消化器内科	Characterization of hepatic lesions (≤ 30 mm) with liver-specific contrast agents: a comparison between ultrasound and magnetic resonance imaging.	Eur J Radiol. 2013 Jan;82(1):75-84.. Epub 2012 Oct 29.
56	Sakai Y	消化器内科	Clinical usefulness of doripenem (DRPM), a carbapenem antimicrobial drug, for the treatment of patients with acute cholangitis: retrospective study.	Int J Clin Pharmacol Ther. 2013 Jan;51(1):19-25.
57	Mikata R	消化器内科	Clinical usefulness of repeated pancreatic juice cytology via endoscopic naso-pancreatic drainage tube in patients with pancreatic cancer.	J Gastroenterol. 2013 Jul;48(7):866-73. Epub 2012 Oct 10.
58	Sugiyama H	消化器内科	Preoperative drainage for distal biliary obstruction: endoscopic stenting or nasobiliary drainage?	Hepatogastroenterology. 2013 Mar-Apr;60(122):231-4.
59	Hata S	消化器内科	Intragastric acidity during the first day following administration of low-dose proton pump inhibitors: a randomized crossover study.	Clin Res Hepatol Gastroenterol. 2013 Jun;37(3):296-301.
60	Sakai Y	消化器内科	Endoscopic sphincterotomy combined with large balloon dilation for removal of large bile duct stones.	Hepatogastroenterology. 2013 Jan-Feb;60(121):58-64.

61	Hata S	消化器内科	Clinical significance of endoscopic ultrasound for gastric submucosal tumors.	Clin Res Hepatol Gastroenterol. 2013 Apr;37(2):207-12. Epub 2012 May 23.
62	Komatsu H	精神神経科	Effectiveness of Information Technology Aided Relapse Prevention Programme in Schizophrenia excluding the effect of user adherence: a randomized controlled trial.	Schizophr Res. 2013 Oct;150(1):240-4.
63	Tsuyoshi Sasaki	こどものこころ診療部	Ifenprodil for the Treatment of Flashbacks in Adolescent Female Posttraumatic Stress Disorder Patients with a History of Abuse	Psychother Psychosom 2013;82:344-345
64	Shiina A	こどものこころ診療部	Recognition of change in the reform of forensic mental health by clinical practitioners: a questionnaire survey in Japan	Ann Gen Psychiatry. 2014 Mar 29;13(1):9.
65	Sasaki T	こどものこころ診療部	Tipepidine in children with attention deficit/hyperactivity disorder: a 4-week, open-label, preliminary study.	Neuropsychiatr Dis Treat. 2014 Jan 24;10:147-51.
66	Iyo M	精神医学	Optimal extent of dopamine d2 receptor occupancy by antipsychotics for treatment of dopamine supersensitivity psychosis and late-onset psychosis.	J Clin Psychopharmacol. 2013 Jun;33(3):398-404.
67	Niitsu T	精神神経科	Pharmacogenetics in major depression: a comprehensive meta-analysis.	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2013 Aug 1;45:183-94.
68	Niitsu T	精神神経科	Behavioural and psychological symptoms of dementia in an Alzheimer' s disease case successfully treated with natural medicine: association with gonadotropins.	Psychogeriatrics. 2013 Jun;13(2):124-7.
69	Niitsu T	精神神経科	A positive correlation between serum levels of mature brain-derived neurotrophic factor and negative symptoms in schizophrenia.	Psychiatry Res. 2014 Feb 28;215(2):268-73.
70	Niitsu T	精神神経科	The psychological impact of a dual-disaster caused by earthquakes and radioactive contamination in Ichinoseki after the Great East Japan Earthquake.	BMC Res Notes. 2014, 7:307 (20 May 2014)
71	Niitsu T	精神神経科	Association between serum levels of glial cell-line derived neurotrophic factor and attention deficits in schizophrenia.	Neurosci Lett. 2014 May 24;575C:37-41.
72	Kimura H	精神医学	Potential treatment strategy of risperidone in long-acting injectable form for schizophrenia with dopamine supersensitivity psychosis.	Schizophr Res. 2013 Apr;145(1-3):130-1.
73	Kanahara N	社会精神保健教育研究センター	Onset Pattern and Long-Term Prognosis in Schizophrenia: 10-Year Longitudinal Follow-Up Study.	PLoS One. 2013 Jun 26;8(6):e67273.
74	Kimura H	社会精神保健教育研究センター	A prospective comparative study of risperidone long-acting injectable for treatment-resistant schizophrenia with dopamine supersensitivity psychosis.	Schizophr Res. 2014 May;155(1-3):52-8.
75	Nishimura M	検査部	Human apolipoprotein e resequencing by proteomic analysis and its application to serotyping	PLoS One, 2014 Jan 14;9(1):

76	Sato K	検査部	Transbronchial biopsy needle rinse solution used for comprehensive biomarker testing in patients with lung cancer.	J Thorac Oncol. 2014 Jan;9(1):26-32.
77	Sogawa K	検査部	Increased concentrations of apo A-I and apo A-II fragments in the serum of patients with hepatocellular carcinoma by magnetic beads-assisted MALDI-TOF mass spectrometry.	Am J Clin Pathol. 2014 Jan;141(1):52-61
78	Nomura F	検査部	Better agreement between independent assessors of three-dimensional global longitudinal strain of whole right ventricle using transthoracic echocardiography than for other three-dimensional right ventricular parameters.	Int J Cardiol. 2013 Nov 15;169(4):e56-61.
79	Semba T	検査部	The FLS (fatty liver Shionogi) mouse reveals local expressions of lipocalin-2, CXCL1 and CXCL9 in the liver with non-alcoholic steatohepatitis.	BMC Gastroenterol. 2013 Jul 23;13:120
80	Tsuchida S	検査部	Application of quantitative proteomic analysis using tandem mass tags for discovery and identification of novel biomarkers in periodontal disease	Proteomics. 2013 Aug;13(15):2339-50.
81	Matsushita K	検査部	Interactions between SAP155 and FUSE-binding protein-interacting repressor bridges c-Myc and P27Kip1 expression	Mol Cancer Res. 2013 Jul;11(7):689-98
82	Sawai S	検査部	Cerebrospinal fluid interleukin-6 and glial fibrillary acidic protein levels are increased during initial neuromyelitis optica attacks	Clin Chim Acta. 2013 Jun 5;421:181-3
83	Nomura F	検査部	Adherence to medication is a more important contributor to viral breakthrough in chronic hepatitis B patients treated with entecavir than in those with Lamivudine	Int J Med Sci. 2013;10(5):567-74
84	Nomura F	検査部	Prohibitin and its rapidly emerging role as a biomarker of systemic malignancies-reply	Hum Pathol. 2013 Apr;44(4):679-80.
85	Satoh M	検査部	Overexpression of hydroxymethylglutaryl CoA synthase 2 and 2,4-dienoyl-CoA reductase in rat pancreas following chronic alcohol consumption	Pancreas. 2013 Apr;42(3):475-82
86	Satoh M	検査部	Cyclic sample pooling using two-dimensional liquid chromatography system enhances coverage in shotgun proteomics	Biomed Chromatogr. 2013 Jun;27(6):691-4
87	Sogawa K	検査部	Serum fibrinogen alpha C-chain 5.9 kDa fragment as a biomarker for early detection of hepatic fibrosis related to hepatitis C virus.	Proteomics Clin Appl. 2013 Jun;7(5-6):424-31
88	Nomura F	検査部	Enhanced recovery of lyophilized peptides in shotgun proteomics by using an LC-ESI-MS compatible surfactant	Proteomics. 2013 Mar;13(5):751-5
89	Mochizuki A	検査部	Preanalytical evaluation of serum 25-hydroxyvitamin D3 and 25-hydroxyvitamin D2 measurements using LC-MS/MS	Clin Chim Acta. 2013 May;420:114-20
90	Seimiya, M.	検査部	Clathrin heavy chain is a useful immunohistochemical marker for esophageal squamous intraepithelial neoplasia	Esophagus 2013. 1-6. 19 June

91	Naomi Shimizu	輸血部	G-CSF induces the release of the soluble form of LR11, a regulator of myeloid cell mobilization in bone marrow.	Ann Hematol. 2014 Jul;93(7):1111-22.
92	Ebihara YI	輸血部	Allogeneic stem cell transplantation for patients with acute myeloid leukaemia developing from severe congenital neutropenia.	Br J Haematol. 2014 Feb;164(3):459-61
93	Higashide Takashi	放射線科	Detection of adrenal veins on selective retrograde CT adrenal venography in comparison with digital subtraction angiography in subjects with established diagnosis of one-sided adrenal aldosterone-producing tumor confirmed by adrenal vein sampling, histopathology and clinical course. Int J Cardiol.	Int J Cardiol. 2013;168:3254-8.
94	Higashide Takashi	放射線科	Utility of 320 slice mapping CT for adrenal vein sampling in subjects suspected of having primary-aldosteronism compared with digital-subtraction-angiography and selective retrograde CT adrenal venography	Int J Cardiol. 2013, 168:3033-4.
95	Mikami Wakako	放射線科	Fat suppression strategies in MR imaging of breast cancer at 3.0 T: comparison of the two-point Dixon technique and the frequency selective inversion method.	Jpn J Radiol. 2013, 31:615-22.
96	Yokata Hajime	放射線科	Internal hernia associated with colostomy after laparoscopic abdominoperineal resection.	Clin Imaging. 2013, 37:590-2.
97	M. komita	麻酔・疼痛・緩和医療科	The effect of endoplasmic reticulum stress on neurotoxicity caused by inhalational anesthetics	Anesthesia&Analgesia 2013 Nov;117(5):1197-204
98	Shikino K	総合診療部	Transient idiopathic isolated unilateral hypoglossal nerve palsy.	Journal of General Internal Medicine 28(4): 591, 2013.
99	Kondo T	総合診療部	Paraspinal pyomyositis associated with radiculopathy.	Internal Medicine 52(12):1417-8, 2014.
100	Suzuki S	総合診療部	Effect of diagnostic predictions combined with clinical information on avoiding perceptual errors of computed tomography.	Japanese Journal of Radiology 31(11):731-6, 2013.
101	Uehara T	総合診療部	Accuracy of diagnoses predicted from a simple patient questionnaire stratified by the duration of general ambulatory training: an observational study.	International Journal of General Medicine 7:13-9, 2013.
102	Shikino K	総合診療部	FDG-PET of Takayasu's arteritis.	Journal of General Internal Medicine 29(7):1072-3, 2014.
103	Takada T	総合診療部	Imaging-negative psoas abscess.	The Lancet 383(9913):280, 2014.
104	Suzuki S	総合診療部	Chest Pain: The Only Symptom of Gastric Ulcer	General Medicine 2014; 14(2):135-137
105	Ishiwada N	感染症管理治療部	Comparison of clinical efficacy between 3-day combined clavulanate/amoxicillin preparation treatment and 10-day amoxicillin treatment in children with pharyngolaryngitis or tonsillitis.	Journal of Infection and Chemotherapy 19(1):12-9. 2013

106	Ishiwada N	感染症管理治療部	The burden of childhood pneumonia in the developed world: a review of the literature.	Pediatric Infectious Disease Journal. 32(3):e119-27. 2013
107	Ishiwada N	感染症管理治療部	Isoniazid- and streptomycin-resistant military tuberculosis complicated by intracranial tuberculoma in a Japanese infant.	The Tohoku Journal of Experimental Medicine. 229(3):221-5. 2013
108	Ishiwada N	感染症管理治療部	Complications of adenotonsillectomy: a case report of meningitis due to dual infection with nontypeable Haemophilus influenzae and Streptococcus pneumoniae, and a prospective study of the rate of postoperative bacteremia.	The Japanese Journal of Antibiotics. 66(4):205-10. 2013
109	Ishiwada N	感染症管理治療部	First adult case of Helicobacter cinaedi meningitis.	The Journal of the Neurological Sciences. 336(1-2):263-4. 2014
110	Ishiwada N	感染症管理治療部	Changes in nasopharyngeal carriage of Streptococcus pneumoniae, Haemophilus influenzae and Moraxella catarrhalis among healthy children attending a day-care centre before and after official financial support for the 7-valent pneumococcal conjugate vaccine and H. influenzae type b vaccine in Japan.	Journal of Infection and Chemotherapy. 20(2):146-9. 2014
111	Ishiwada N	感染症管理治療部	The relationship between biofilm formations and capsule in Haemophilus influenzae.	Journal of Infection and Chemotherapy. 20(3):151-6. 2014
112	Ishiwada N	感染症管理治療部	Hyporesponsiveness to the infecting serotype after vaccination of children with seven-valent pneumococcal conjugate vaccine following invasive pneumococcal disease.	Vaccine. 32(13):1444-50. 2014
113	Ishiwada N	感染症管理治療部	An immunocompetent child with chromosomally integrated human herpesvirus 6B accidentally identified during the care of Mycoplasma pneumoniae infection.	Journal of Infection and Chemotherapy. 20(1):65-7. 2014
114	Ishiwada N	感染症管理治療部	Streptococcus gallolyticus subsp. pasteurianus meningitis in an infant.	Pediatrics International. 56(2):282-5. 2014
115	Watanabe A	感染症管理治療部	Glucosylase is a major allergen of Schizophyllum commune.	Clinical & Experimental Allergy. 44(3):450-7. 2014
116	Waka Takahashi	Department of Emergency and Critical Care Medicine, Graduate School of Medicine, Chiba University	Kinetics and protective role of autophagy in a mouse cecal ligation and puncture-induced sepsis	Crit Care. 2013 Jul 24;17(4):R160. doi: 10.1186/cc12839
117	Tomonori Kimura	Department of Emergency and Critical Care Medicine, Graduate School of Medicine, Chiba University	Autophagy-related IRGM polymorphism is associated with mortality of patients with severe sepsis.	PLoS One. 2014 Mar 13;9(3):e91522. doi: 10.1371/journal.pone.0091522. eCollection 2014.
118	Satoh T	皮膚科学	NLRP2 activation induces ASC-dependent programmed necrotic cell death, which leads to neutrophilic inflammation.	Cell Death Dis. 4: e643.
119	Baba T	眼科	Level of vascular endothelial growth factor 165b in human aqueous humor.	Curr Eye Res. 2014 Aug;39(8):830-6. Epub 2014 Feb 6
120	Oshitari T	眼科	Werner syndrome with refractory cystoid macular edema and immunohistochemical analysis of WRN proteins in human retinas.	BMC Ophthalmol. 2014 Mar 12;14:31.

121	Oshitari T	眼科	Increased expression of phosphorylated c-Jun and phosphorylated c-Jun N-terminal kinase associated with neuronal cell death in diabetic and high glucose exposed rat retinas.	Brain Res Bull. 2014 Feb;101:18-25. Epub 2013
122	Kitahashi M	眼科	Pneumatic displacement with intravitreal bevacizumab for massive submacular hemorrhage due to polypoidal choroidal vasculopathy.	Clin Ophthalmol. 2014 Mar 3;8:485-92.
123	Sakurai M	眼科	One-year results of intravitreal ranibizumab combined with reduced-fluence photodynamic therapy for polypoidal choroidal vasculopathy.	Clin Ophthalmol. 2014 Jan 28;8:235-41.
124	Bikbova G	眼科	Neurite regeneration in adult rat retinas exposed to advanced glycation end-products and regenerative effects of neurotrophin-4.	Brain Res. 2013 Oct 9;1534:33-45.
125	Yokouchi H	眼科	Intravitreal bevacizumab for iris tumor metastasized from large cell neuroendocrine carcinoma of lung.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2013 Sep;251(9):2243-5.
126	Yokouchi H	眼科	Angiopoietin-like protein 4 (ANGPTL4) is induced by high glucose in retinal pigment epithelial cells and exhibits potent angiogenic activity on retinal endothelial cells.	Acta Ophthalmol. 2013 Jun;91(4):e289-97. Epub 2013 Feb 7
127	Tatsumi T	眼科	Panretinal photocoagulation with simultaneous cryoretinopexy or intravitreal bevacizumab for neovascular glaucoma.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2013 May;251(5):1355-60. Epub 2012 Dec 19.
128	Tawada A	眼科	Improvement of central retinal sensitivity six months after topical isopropyl unoprostone in patients with retinitis pigmentosa.	Indian J Ophthalmol. 2013 Mar;61(3):95-9.
129	Baba T	眼科	Retinal pigment epithelium tear after vitrectomy for vitreomacular traction syndrome in an eye with retinal angiomatous proliferation.	Case Rep Ophthalmol. 2013 Oct 11;4(3):165-71.
130	Yamanouchi D	眼科	Primary neuroendocrine carcinoma of ocular adnexa.	Case Rep Ophthalmol Med. 2013;2013:281351. Epub 2013 Nov 3
131	Bikbova G	眼科	Macular hole after laser in situ keratomileusis in a 26-year-old patient.	Case Rep Ophthalmol Med. 2013;2013:739474. Epub 2013 Jun 12.
132	Ozawa K	循環器内科	Myocardial fibrosis in the right ventricle detected on ECG gated 320 slice CT showed a short term poor prognosis in subjects with pulmonary hypertension.	Int J Cardiol. 2013 Sep 20;168(1):584-6. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.01.251. Epub 2013 Mar 28. No abstract available.
133	Takaoka H	循環器内科	Diagnostic accuracy of coronary 320 slice CT angiography using retrospective electrocardiogram gated acquisition compared with virtual prospective electrocardiogram gated acquisition with and without padding.	Int J Cardiol. 2013 Oct 3;168(3):2811-5. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.03.066. Epub 2013 Apr 22.
134	Takaoka H	循環器内科	Utilities of 320-slice computed-tomography for evaluation of tricuspid valve annular diameter before tricuspid-valve-plasty compared with the direct-measurement of tricuspid valve annular diameter during open heart-surgery.	Int J Cardiol. 2013 Oct 3;168(3):2889-93. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.03.097. Epub 2013 Apr 30. No abstract available.
135	Higashide T	放射線科	Detection of adrenal veins on selective retrograde CT adrenal venography in comparison with digital subtraction angiography in subjects with established diagnosis of one-sided adrenal aldosterone-producing tumor confirmed by adrenal vein sampling, histopathology and clinical course.	Int J Cardiol. 2013 Oct 9;168(4):3254-8. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.04.140. Epub 2013 May 4.

136	Higashide T	放射線科	Utility of 320 slice mapping CT for adrenal vein sampling in subjects suspected of having primary-aldosteronism compared with digital-subtraction-angiography and selective retrograde CT adrenal venography.	Int J Cardiol. 2013 Oct 3;168(3):3033-4. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.04.143. Epub 2013 May 4. No abstract available.
137	Ozasa Y	循環器内科	Notch activation mediates angiotensin II-induced vascular remodeling by promoting the proliferation and migration of vascular smooth muscle cells.	Hypertens Res. 2013 Oct;36(10):859-65. doi: 10.1038/hr.2013.52. Epub 2013 May 30.
138	Kondo Y	循環器内科	Identification of left atrial ganglionated plexi by dense epicardial mapping as ablation targets for the treatment of concomitant atrial fibrillation.	Pacing Clin Electrophysiol. 2013 Nov;36(11):1336-41. doi: 10.1111/pace.12169. Epub 2013 Jun 6.
139	Funabashi N	循環器内科	Relationship of maximum and minimum tricuspid valve annular diameter determined by 320-slice CT with right atrial and ventricular volume and estimated right ventricular systolic pressure.	Int J Cardiol. 2013 Oct 9;168(4):4578-81. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.06.068. Epub 2013 Jul 18. No abstract available.
140	Funabashi N	循環器内科	Regional peak longitudinal-strain by 2D speckle-tracking TTE provides useful information to distinguish fibrotic from non-fibrotic lesions in LV myocardium on cardiac MR in hypertrophic cardiomyopathy.	Int J Cardiol. 2013 Oct 9;168(4):4520-3. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.06.105. Epub 2013 Jul 20. No abstract available.
141	Ozawa K	循環器内科	Answer to comprehensive role of advanced imaging in assessing arrhythmic substrates.	Int J Cardiol. 2013 Oct 9;168(4):4472-4. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.06.138. Epub 2013 Jul 23. No abstract available.
142	Funabashi N	循環器内科	Risk stratification using myocardial peak longitudinal-strain on speckle-tracking transthoracic-echocardiogram to predict major adverse cardiac events in non ischemic hypertrophic-cardiomyopathy subjects confirmed by MDCT.	Int J Cardiol. 2013 Oct 9;168(4):4586-9. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.06.056. Epub 2013 Aug 1. No abstract available.
143	Funabashi N	循環器内科	Sigmoid shaped interventricular septum exhibit normal myocardial characteristics and has a relationship with aging, ascending aortic sclerosis and its tilt to left ventricle.	Int J Cardiol. 2013 Oct 9;168(4):4484-8. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.06.129. Epub 2013 Jul 31. No abstract available.
144	Nojima A	循環器内科	Haploinsufficiency of akt1 prolongs the lifespan of mice.	PLoS One. 2013 Jul 30;8(7):e69178. doi: 10.1371/journal.pone.0069178. Print 2013.
145	Ozawa K	循環器内科	Various morphological types of fragmented ventricular premature beats on 12 lead Holter ECG had positive relationship with LV fibrotic volume on CMR in HCM subjects.	Int J Cardiol. 2013 Oct 12;168(5):5015-22. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.07.155. Epub 2013 Aug 6. No abstract available.
146	Nakamura K	循環器内科	Anatomical relationship of coronary sinus/great cardiac vein and left circumflex coronary artery along mitral annulus in atrial fibrillation before radiofrequency catheter ablation using 320-slice CT.	Int J Cardiol. 2013 Oct 15;168(6):5174-81. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.07.261. Epub 2013 Aug 7.
147	Nakamura K	循環器内科	Optimal observation time after completion of circumferential pulmonary vein isolation for atrial fibrillation to prevent chronic pulmonary vein reconnections.	Int J Cardiol. 2013 Oct 15;168(6):5300-10. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.08.011. Epub 2013 Aug 15.
148	Uehara M	循環器内科	Detection of luminal stenosis by 320-slice CT in coronary arteries with cross-sectional area less than 4 mm ² confirmed by intravascular-ultrasound compared with conventional coronary angiography.	Int J Cardiol. 2013 Oct 15;168(6):5457-60. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.07.170. Epub 2013 Jul 26. No abstract available.
149	Ozawa K	循環器内科	Better agreement between independent assessors of three-dimensional global longitudinal strain of whole right ventricle using transthoracic echocardiography than for other three-dimensional right ventricular parameters.	Int J Cardiol. 2013 Nov 15;169(4):e56-61. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.08.135. Epub 2013 Sep 9. No abstract available.
150	Ozawa K	循環器内科	Determination of optimum periods between onset of suspected acute myocarditis and 99mTc-fluorodeoxyglucose positron emission tomography in the diagnosis of inflammatory left ventricular myocardium.	Int J Cardiol. 2013 Nov 5;169(3):196-200. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.08.098. Epub 2013 Sep 8.

151	Fujimoto Y	循環器内科	Usefulness of Corsair microcatheter to cross stent struts in bifurcation lesions.	Cardiovasc Interv Ther. 2014 Jan;29(1):47-51. doi: 10.1007/s12928-013-0214-8. Epub 2013 Oct 6.
152	Shimizu I	循環器内科	Semaphorin3E-induced inflammation contributes to insulin resistance in dietary obesity.	Cell Metab. 2013 Oct 1;18(4):491-504. doi: 10.1016/j.cmet.2013.09.001.
153	Ozawa K	循環器内科	Detection of right ventricular wall motion asynergy confirmed on four-dimensional 320-slice CT by two-dimensional global longitudinal strain of right ventricle using transthoracic-echocardiography in pulmonary hypertension.	Int J Cardiol. 2013 Nov 15;169(4):e70-4. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.09.007. Epub 2013 Oct 5. No abstract available.
154	Funabashi N	循環器内科	Distinguishing 320 slice CT-detected focal fibrotic lesions and non-fibrotic lesions in hypertrophic cardiomyopathy by assessment of regional myocardial strain using two dimensional speckle tracking echocardiography.	Int J Cardiol. 2013 Nov 30;169(6):e109-13. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.10.029. Epub 2013 Oct 16. No abstract available.
155	Nakano M	循環器内科	Estimation of the origin of ventricular outflow tract arrhythmia using synthesized right-sided chest leads.	Europace. 2013 Nov 26. [Epub ahead of print]
156	Ozawa K	循環器内科	Various morphological-types of all and fragmented ventricular premature beats on a 12-lead Holter-ECG had positive-relationship with occurrence of LV fibrosis on CT in HCM subjects.	Int J Cardiol. 2014 Feb 15;171(3):450-6. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.11.064. Epub 2013 Dec 3. No abstract available.
157	Uehara M	循環器内科	False-positive findings in 320-slice cardiac CT for detection of severe coronary stenosis in comparison with invasive coronary angiography indicate poor prognosis for occurrence of MACE.	Int J Cardiol. 2014 Mar 1;172(1):235-7. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.12.213. Epub 2014 Jan 8. No abstract available.
158	Funabashi N	循環器内科	Comparison of non-cardiac findings by a cardiologist with those by a radiologist team in 320 slice CT heart images.	Int J Cardiol. 2014 Mar 15;172(2):e326-8. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.12.104. Epub 2014 Jan 5. No abstract available.
159	Ozawa K	循環器内科	320-slice CT-based finding of aortic wall tissue invasion into left-main coronary artery does not have relationship with coronary risk factors and coronary arteriosclerosis and stenosis.	Int J Cardiol. 2014 Mar 1;172(1):e207-9. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.12.152. Epub 2014 Jan 8. No abstract available.
160	Ozawa K	循環器内科	Two dimensional global longitudinal strain of right ventricle using transthoracic echocardiography can detect right ventricular fibrosis confirmed by 320 slice CT in pulmonary hypertension.	Int J Cardiol. 2014 Mar 1;172(1):e230-3. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.12.149. Epub 2014 Jan 8. No abstract available.
161	Funabashi N	循環器内科	The CHA2DS2-VASc score predicts 320-slice CT-based coronary artery plaques and >50% stenosis in subjects with chronic and paroxysmal atrial fibrillation.	Int J Cardiol. 2014 Mar 1;172(1):e234-7. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.12.148. Epub 2014 Jan 8. No abstract available.
162	Ozawa K	循環器内科	Consistency of estimated-origin of representative ventricular premature beats by 12-lead ambulatory ECG with late-enhancement site in left-ventricle by CMR with quantitative volumetric threshold in HCM.	Int J Cardiol. 2014 Mar 1;172(1):e238-42. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.12.147. Epub 2014 Jan 8. No abstract available.
163	Tanaka S	アレルギー・膠原病内科	Alteration of circulating miRNAs in SSC: miR-30b regulates the expression of PDGF receptor β .	Rheumatology (Oxford). 2013;52(11):1963-72.
164	Kawashima H	アレルギー・膠原病内科	Tumor suppressor p53 inhibits systemic autoimmune diseases by inducing regulatory T cells.	J Immunol. 2013;191(7):3614-23.
165	Ikedo K	アレルギー・膠原病内科	Correlation of radiographic progression with the cumulative activity of synovitis estimated by power Doppler ultrasound in rheumatoid arthritis: difference between patients treated with methotrexate and those treated with biological agents.	J Rheumatol. 2013;40(12):1967-76.

166	Yamagata M	アレルギー・膠原病内科	Clinical characteristics of Nocardia infection in patients with rheumatic diseases.	Clin Dev Immunol. 2013;2013:818654.
167	Ikeda K	アレルギー・膠原病内科	Efficacy of abatacept for arthritis in patients with an overlap syndrome between rheumatoid arthritis and systemic lupus erythematosus.	Clin Dev Immunol. 2013;2013:697525.
168	Iwata A	アレルギー・膠原病内科	Th2-type inflammation instructs inflammatory dendritic cells to induce airway hyperreactivity.	Int Immunol. 2014;26(2):103-14.
169	Ikeda K	アレルギー・膠原病内科	Analysis of the factors which influence the measurement of synovial power Doppler signals with semi-quantitative and quantitative measures - a pilot multicenter exercise in Japan.	Mod Rheumatol. 2014;24(3):419-25.
170	Saito Y	アレルギー・膠原病内科	AT-rich-interactive domain-containing protein 5A functions as a negative regulator of retinoic acid receptor-related orphan nuclear receptor γ t-induced Th17 cell differentiation.	Arthritis Rheumatol. 2014;66(5):1185-94.
171	Sanayama Y	アレルギー・膠原病内科	Prediction of therapeutic responses to tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis - biomarkers identified by analyses of gene expression in peripheral blood mononuclear cells using genome-wide DNA microarray.	Arthritis Rheumatol. 2014;66(6):1421-31.
172	Iwamoto T	アレルギー・膠原病内科	Interleukin-21-Producing c-Maf-expressing CD4+ T cells induce effector CD8+ T cells and enhance autoimmune inflammation in scurfy mice.	Arthritis Rheumatol. 2014;66(8):2079-90.
173	Norimoto A	アレルギー・膠原病内科	Dectin-2 promotes house dust mite-induced T helper type 2 and type 17 cell differentiation and allergic airway inflammation in mice.	Am J Respir Cell Mol Biol. 2014 g;51(2):201-9.
174	Hirose K	アレルギー・膠原病内科	Roles of IL-22 in Allergic Airway Inflammation.	J Allergy (Cairo). 2013;2013:260518.
175	Nakagomi D	アレルギー・膠原病内科	Bucillamine-induced yellow nail in Japanese patients with rheumatoid arthritis: two case reports and a review of 36 reported cases.	Rheumatol Int. 2013;33(3):793-7.
176	Asahina M	神経内科	Investigation of antimuscarinic receptor autoantibodies in patients with acquired idiopathic generalized anhidrosis.	Intern Med 2013;52(24):2733-7
177	Kuwabara S	神経内科	Multiple mechanisms for distal axonal loss in Guillain-Barré syndrome.	Clin Neurophysiol. 2013;124(4):821-2.
178	Masuda H	神経内科	Anti-Aquaporin-4 Antibody-Seronegative NMO Spectrum Disorder with Baló's Concentric Lesions	Internal Med 2013; 52(13):1517-21
179	Masuda H	神経内科	Pseudoperipheral palsy due to infarction in the internal capsule.	Internal Med 2013;52(20):2347-9.
180	Sekiguchi Y	神経内科	Patterns of sensory nerve conduction abnormalities in Fisher syndrome: More predominant involvement of group Ia afferents than skin afferents.	Clin Neurophysiol. 2013;124(7):1465-9

181	Sekiguchi Y	神経内科	Ambiguous effects of anti-VEGF monoclonal antibody (bevacizumab) for POEMS syndrome.	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2013;84(12):1346-1348
182	Shibuya K	神経内科	Acute brachial plexopathy due to Burkitt's lymphoma infiltration	Internal Med 2013; 52(8):931
183	Shibuya K	神経内科	Split hand syndrome in amyotrophic lateral sclerosis: different excitability changes in the thenar and hypothenar motor axons.	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2013;84(9):969-72
184	Shimada J	神経内科	Retinol palmitate prevents ischemia-induced cell changes in hippocampal neurons through the Notch1 signaling pathway in mice.	Exp Neurol. 2013; 247:182-7
185	Uzawa A	神経内科	Anti-high mobility group box 1 monoclonal antibody ameliorates experimental autoimmune encephalomyelitis	Clin Exp Immunol 2013;172(1):37-43
186	Uzawa A	神経内科	CSF high mobility group box 1 is associated with intrathecal inflammation and astrocytic damage in neuromyelitis optica	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2013;84(5):517-522
187	Uzawa A	神経内科	Cerebrospinal fluid interleukin-6 and glial fibrillary acidic protein levels are elevated during initial neuromyelitis optica attacks	Clin Chim Acta 2013;421:181-183
188	Uzawa A	神経内科	Upbeat nystagmus at caudal brainstem lesions in four cases with multiple sclerosis and its related disorders	Clin Exp Neuroimmunol 2013; 4(2) :206-9
189	Koga S	神経内科	Aphonia due to vocal cord impairment induced by carbon monoxide poisoning	Acute Medicine & Surgery 2014;1(2):119-121
190	Shimada J	神経内科	Features of Brain Magnetic Resonance Imaging Diffusion-Weighted Images of Aortogenic Embolic Stroke.	Circulation Journal 2014;78(3):738-742
191	Sugiyama A	神経内科	First adult case of Helicobacter cinaedi meningitis	J Neurol Sci 2014;336(1-2):263-4
192	Sugiyama A	神経内科	A case of fulminant neuromyelitis optica presenting with destructive lesions in whole-brain	Clinical Neurology and Neurosurgery 2014;116:87-9.
193	Yamamoto T	神経内科	The subthalamic activity and striatal monoamine are modulated by subthalamic stimulation.	Neuroscience 2014;259:43-52.
194	Asahina M	神経内科	Autonomic dysfunction in parkinsonian disorders: assessment and pathophysiology	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2013;84(6):674-80
195	Kuwabara S	神経内科	Environment surrounding the ganglioside clusters as immunological targets in Guillain-Barré syndrome	Clin Exp Neuroimmunol 2013;4(1):10-11

196	Kuwabara S	神経内科	Is 'Bickerstaff brainstem encephalitis' really encephalitis.	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2013;84(7):712
197	Kuwabara S	神経内科	Bickerstaff brainstem encephalitis: more common than we think?	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2013;84(11):1184
198	Kuwabara S	神経内科	Guillain-Barré syndrome and influenza A (H1N1) 2009 monovalent inactivated vaccines: The risks and benefits	Clinical and Experimental Neuroimmunology 2013;4(3): 249-250
199	Kuwabara S	神経内科	Axonal Guillain-Barre syndrome: concept and controversies.	Lancet Neurology 2013;12(12):1180-88
200	Misawa S	神経内科	Polyneuropathy, organomegaly, endocrinopathy, monoclonal gammopathy and skin changes (Crow-Fukase) syndrome: Diagnostic criteria and treatment perspectives	Clin Exp Neuroimmunol 2013;4(3):318-325
201	Uzawa A	神経内科	Role of interleukin-6 in the pathogenesis of neuromyelitis optica	Clin Exp Neuroimmunol 2013;4(2) :167-72
202	Kuwabara S	神経内科	Involvement of group Ia afferents in Fisher syndrome: Neuronopathy or axonopathy?	Clinical Neurophysiology 2014;125(1):213-4
203	Uzawa A	神経内科	Cytokines and chemokines in neuromyelitis optica: pathogenetic and therapeutic implications	Brain Pathology 2014;24(1):67-73
204	Uzawa A	神経内科	Neuromyelitis optica: Concept, immunology and treatment.	J Clin Neurosci 2014;21:12-21
205	Hishiki T	小児外科	Optimal surgical treatment and urological outcomes in boys with pelvic and urogenital rhabdomyosarcomas and soft tissue sarcomas	Pediatr Surg Int. 2013;29:1077-82
206	Terui K	小児外科	Diagnosis of Biliary Atresia Can not be Excluded by Declining Trend of Serum Direct Bilirubin	Pediatr Rep. 2013;5(4):e17
207	Terui K	小児外科	γ amylase/urinary creatinine ratio (uAm/uCr)--a less-invasive parameter for management of hyperamylasemia	BMC Pediatr. 2013;13(1):205
208	Hamasaki S	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Characteristics of the Chiba environmental challenge chamber.	Allergol Int. 63(1):41-50.
209	Fujii S	耳鼻咽喉・頭頸部外科	NKT cells as an ideal anti-tumor immunotherapeutic.	Front Immunol. 2:4:409.
210	Okamoto Y	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Guiding principles of subcutaneous immunotherapy for allergic rhinitis in Japan.	Auris Nasus Larynx. 41(1):1-5

211	Yonekura S	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Randomized double-blind study of prophylactic treatment with an antihistamine for seasonal allergic rhinitis.	Int Arch Allergy Immunol. 162(1):71-8.
212	Kinoshita T	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Tumour-suppressive microRNA-29s inhibit cancer cell migration and invasion by targeting laminin-integrin signalling in head and neck squamous cell carcinoma.	Br J Cancer. 109(10):2636-45.
213	Nohata N	耳鼻咽喉・頭頸部外科	MicroRNAs function as tumor suppressors or oncogenes: Aberrant expression of microRNAs in head and neck squamous cell carcinoma.	Auris Nasus Larynx. 40(2):143-9
214	Nohata N	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Tumour-suppressive microRNA-874 contributes to cell proliferation through targeting of histone deacetylase 1 in head and neck squamous cell carcinoma.	Br J Cancer. 108(8):1648-58.
215	Nakajima T	呼吸器外科	Rapid on-site cytologic evaluation during endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration for nodal staging in patients with lung cancer.	Ann Thorac Surg. May;95(5) : 1695-9. 2013
216	Sakairi Y	呼吸器外科	Validation of EBUS-TBNA-integrated nodal staging in potentially node-positive non-small cell lung cancer.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2013 Jun 9. Epub ahead of print 2013
217	Mizobuchi T	呼吸器外科	Radiologic evaluation for volume and weight of remnant lung in living lung donors.	J Thorac Cardiovasc Surg. Nov ; 146 (5) : 1253-8. 2013
218	Mizobuchi T	呼吸器外科	Spirometric and radiological evaluation of the remnant lung long after major pulmonary resection: can compensatory phenomena be recognized in clinical cases?	Surg Today. Aug 27. [Epub ahead of print] 2013
219	Kantake M	呼吸器内科	Association of deep vein thrombosis type with clinical phenotype of chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Int J Cardiol 2013; 165:474-477.
220	Kitazono S	呼吸器内科	Effect of metformin on residual cells after chemotherapy in a human lung adenocarcinoma cell line.	Int J Oncol 2013;43:1846-1854.
221	Sugiura T	呼吸器内科	Role of 320-slice CT imaging in the diagnostic workup of patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Chest 2013;143:1070-1077
222	Jujo T	呼吸器内科	The role of matrix metalloproteinase in the intimal sarcoma-like cells derived from endarterectomized tissues from a chronic thromboembolic pulmonary hypertension patient.	PLoS One. 2014;28:e87489
223	Matsuura Y	呼吸器内科	Quantitative assessment of cross-sectional area of small pulmonary vessels in patients with COPD using inspiratory and expiratory MDCT.	Eur J Radiol. 2013;82:1804-1810.
224	Ikari J	呼吸器内科	Phf11 promotes class switch recombination to IgE in murine activated B-cells.	Allergy. 2014;69:223-230.
225	Ikari J	呼吸器内科	Phosphodiesterase 4 inhibition augments human lung fibroblast VEGF production induced by PGE2.	Am J Respir Cell Mol Biol. 2013;49:571-581.

226	Jujo T	呼吸器内科	Cell blocks to diagnose primary effusion lymphoma-like lymphoma.	Intern Med. 2014;53:335-336.
227	Tatsumi K	呼吸器内科	Spontaneously remitted pulmonary arterial hypertension associated with the herbal medicine "bofutsushosan".	Intern Med. 2013;52:1499-502.
228	Suzuki T	呼吸器内科	Pneumocystis pneumonia in everolimus therapy: An indistinguishable case from drug induced interstitial lung disease.	Respiratory Medicine Case Reports. 2013;10:27-30.
229	Suzuki T	呼吸器内科	Severe tracheobronchial stenosis and bronchiectasis complicating ulcerative colitis.	Respirology Case Reports 2014;doi: 10.1002/rccr.2.45
230	Tsushima K	呼吸器内科	The concept study of recombinant human soluble thrombomodulin in patients with acute respiratory distress syndrome.	Int J Clin Med. 2013; 4: 488-495.
231	Tanabe N	呼吸器内科	Recent progress in the diagnosis and management of chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Resp Inves. 2013;51:134-146.
232	Sakao S	呼吸器内科	Crosstalk between endothelial cell and thrombus in chronic thromboembolic pulmonary hypertension: perspective.	Histol Histopathol. 2013;28:185-93.
233	Tada Y	呼吸器内科	A potential therapeutic strategy for malignant mesothelioma with gene medicine.	Histol Biomed Res Int. 2013:572609.
234	Yamamoto Noriko	婦人科	Tumor suppressive microRNA-218 inhibits cancer cell migration and invasion by targeting focal adhesion pathways in cervical squamous cell carcinoma	Intl J of Oncology 2013 May; 42(5): 1523-32
235	Omoto A	周産期母性科	A case of fetal goiter that resolved spontaneously after birth	J Clin Endocrinol Metab2013 Oct ; 98(10): 3910-3911
236	Mitsuhashi A	生殖医学	Daily Low-Dose Cisplatin-Based Concurrent Chemoradiotherapy in Patients With Uterine Cervical Cancer With Emphasis on Elderly Patients: A Phase 2 Trial	Int J Gynecol Cancer.2013 Oct ; 23 (8) 1453-8
237	Yamamoto N	婦人科	Tumor-suppressive microRNA-29a inhibits cancer cell migration and invasion via targeting HSP47 in cervical squamous cell carcinoma	Int J Oncol 2013. Dec; 43(6):1855-63
238	宮崎 勝	肝胆膵外科	Repeat pancreatectomy for pancreatic ductal cancer recurrence in the remnant pancreas after initial pancreatectomy: Is it worthwhile?	Surgery 2013;14:58-66
239	加藤 厚	肝胆膵外科	Surgical Resection after Downsizing Chemotherapy for Initially Unresectable Locally Advanced Biliary Tract Cancer: A Retrospective Single-center Study.	Ann Surg Oncol 2013; 20: 318-324
240	久保木 知	肝胆膵外科	Chylous ascites after hepatopancreatobiliary surgery.	Br J Surg 2013;100:522-527.

241	代市拓也	肝胆膵外科	Protective effects of simultaneous splenectomy on small-for-size liver graft injury in rat liver transplantation	Transpl Int 2014;27:106-113
242	相田俊明	肝胆膵外科	Preoperative immunonutrition decreases postoperative complications by modulating prostaglandin E2 production and T cell differentiation in patients undergoing pancreatoduodenectomy.	Surgery 2013;28:114-123
243	林 達也	肝胆膵外科	protein 2 is a potential predictive marker for risk of early and extensive recurrence of hepatocellular carcinoma after operative resection.	Surgery 2014;155:114-123
244	細川 勇	肝胆膵外科	urgical strategy for hilar cholangiocarcinoma of the left-side predominance: current role of left trisectionectomy.	Ann Surg 2014;6:1178-1185
245	細川 勇	肝胆膵外科	Usefulness of pure laparoscopic hepatectomy for hepatocellular carcinoma in a severely cirrhotic patient.	Case Rep in Gastroenterol 2013;7(2):308-313
246	細川 勇	肝胆膵外科	Left hepatic trisectionectomy for hepatolithiasis with occluded left and right anterior branches of the portal vein: report of a case.	Surg Today 2014;44:1556-1560
247	滝口裕一	臨床腫瘍部	Overdiagnosis in Lung Cancer Screening with Low-Dose Computed Tomography.	Journal of Thoracic Oncology 2013.8, 101-102 110, 2013
248	関根郁夫	臨床腫瘍部	Risk factors of chemotherapy-induced nausea and vomiting: index for personalized antiemetic prophylaxis.	Cancer Sci, 2013 Jun, 711-717, 2013
249	Akutsu Y	先端応用外科学/食道・胃腸外科	S-1 monotherapy as second- or third-line chemotherapy for unresectable and recurrent esophageal squamous cell carcinoma.	Oncology. 2013;84(5):305-10
250	Hoshino I	先端応用外科学/食道・胃腸外科	MicroRNAs in cancer diagnosis and therapy: from bench to bedside.	Surg Today. 2013 May;43(5):467-78
251	Akutsu Y	先端応用外科学/食道・胃腸外科	The overall prevalence of metastasis in T1 esophageal squamous cell carcinoma: a retrospective analysis of 295 patients.	Ann Surg. 2013 Jun;257(6):1032-8
252	Isozaki Y	先端応用外科学/食道・胃腸外科	Role of IGFBP4 and IGF-1 expression in esophageal squamous cell carcinoma.	Esophagus. 2013 Jun;10(2):79-85
253	Imanishi S	先端応用外科学/食道・胃腸外科	Diffusion-weighted magnetic resonance imaging for predicting and detecting the early response to chemoradiotherapy of advanced esophageal squamous cell carcinoma.	Dig Surg. 2013;30(3):240-8
254	Sakama A	先端応用外科学/食道・胃腸外科	Clinical evaluation of an endoscopic image processing system using estimation of spectral reflectance for detecting gastric mucosal lesions.	Chiba Med J 2013;89(4):21-27
255	Akanuma N	先端応用外科学/食道・胃腸外科	MicroRNA-133a regulates the mRNAs of two invadopodia-related proteins, FSCN1 and MMP14, in esophageal cancer.	Br J Cancer. 2014 Jan 7;110(1):189-98

256	Hayano K	先端応用外科学/食道・胃腸外科	Tumor blood flow change measured by CT perfusion during chemoradiation therapy (CRT) for monitoring response and predicting survival in patients with esophageal cancer.	Esophagus. 2014 Jan;11(1):72-9
257	Fujishiro T	先端応用外科学/食道・胃腸外科	Preoperative hepatic CT perfusion as an early predictor for the recurrence of esophageal squamous cell carcinoma: initial clinical results.	Oncol Rep. 2014 Mar;31(3):1083-8
258	Sugamoto Y	先端応用外科学/食道・胃腸外科	Effect of the Cavitation Suppression Technique during High-intensity Focused Ultrasound on Liver Tissue.	Journal of Japan Society of Computer Aided Surgery 2014.2;15(4):339-346
259	Shiiba M	歯科・顎・口腔外科	MicroRNA-125b regulates proliferation and radioresistance of oral squamous cell carcinoma.	Br J Cancer. 2013 May 14;108(9):1817-21.
260	Yokota S	歯科・顎・口腔外科	Protein O-fucosyltransferase 1: a potential diagnostic marker and therapeutic target for human oral cancer.	Int J Oncol. 2013 Dec;43(6):1864-70.
261	Uzawa K	歯科・顎・口腔外科	Targeting phosphodiesterase 3B enhances cisplatin sensitivity in human cancer cells.	Cancer Med. 2013 Feb;2(1):40-9.
262	Kimura R	歯科・顎・口腔外科	Glutamate acid decarboxylase 1 promotes metastasis of human oral cancer by β -catenin translocation and MMP7 activation.	BMC Cancer. 2013 Nov 21;13:555.
263	Baba T	歯科・顎・口腔外科	Persephin: A potential key component in human oral cancer progression through the RET receptor tyrosine kinase-mitogen-activated protein kinase signaling pathway.	Mol Carcinog. 2013 Dec 23.
264	Shimizu F	歯科・顎・口腔外科	Overexpression of LIM and SH3 Protein 1 leading to accelerated G2/M phase transition contributes to enhanced tumorigenesis in oral cancer.	PLoS One. 2013 Dec 26;8(12):e83187.
265	Minakawa Y	歯科・顎・口腔外科	Kinesin family member 4A: a potential predictor for progression of human oral cancer.	PLoS One. 2013 Dec 30;8(12):e85951.
266	Uchida F	歯科・顎・口腔外科	Overexpression of CDCA2 in human squamous cell carcinoma: correlation with prevention of G1 phase arrest and apoptosis.	PLoS One. 2013;8(2):e56381.
267	Shiiba M	歯科・顎・口腔外科	Lipocalin-2 is associated with radioresistance in oral cancer and lung cancer cells.	Int J Oncol. 2013 Apr;42(4):1197-204.
268	Ishige S	歯科・顎・口腔外科	Decreased expression of kallikrein-related peptidase 13: possible contribution to metastasis of human oral cancer.	Mol Carcinog. 2014 Jul;53(7):557-65.
269	Saito Y	歯科・顎・口腔外科	ALY as a potential contributor to metastasis in human oral squamous cell carcinoma.	J Cancer Res Clin Oncol. 2013 Apr;139(4):585-94.
270	Yamamoto A	歯科・顎・口腔外科	Exocyst complex component Sec8: a presumed component in the progression of human oral squamous-cell carcinoma by secretion of matrix metalloproteinases.	J Cancer Res Clin Oncol. 2013 Apr;139(4):533-42.

271	Kenji Watanabe	糖尿病・代謝・内分泌内科 (先進加齢医学寄附講座)	Sod1 Loss Induces Intrinsic Superoxide Accumulation Leading to p53-Mediated Growth Arrest and Apoptosis.	Int J. Mol. Sci. 14(6):10998-1010,2013
272	Takumi Kitamoto	糖尿病・代謝・内分泌内科	A case of type 1 diabetes with nocturnal hypoglycemia after desensitization therapy for insulin allergy.	Diabetes Care. 36(7):e89,2013
273	Minoru Takemoto	糖尿病・代謝・内分泌内科	Atorvastatin ameliorates podocyte injury in patients with type 2 diabetes complicated with dyslipidemia.	Diabetes Res Clin Pract. 100(1):e26-9,2013

計 3

合計 273

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号				
1				
2				
3				
4				
5				
～				

- 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 6 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 利益相反ポリシー ・ 利益相反マネジメント規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 6 回

- (注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 7 回
・ 研修の主な内容 ・ 臨床研究系統講義 入門・応用（倫理規範・海外の法令・国際ガイドラインについて、臨床試験の倫理及び利益相反） ・ 千葉大学医学部附属病院が実施した臨床研究「VART study」に関する事案と現状とその対策について（緊急セミナー 5回）	

- (注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

(目的と特長)

- 初期研修を修了した医師・歯科医師が臨床医学系専門領域の学会認定専門医を取得する
- 2年間の卒後研修を含む新しい枠組みでの学会認定専門医を取得できるプログラム。
- 内科、外科の場合は内科認定医・認定内科専門医、外科専門医を取得できると共に、さらにサブスペシャリティの専門医を取得できるプログラム研修期間

(期間)

- 研修期間は3～5年（卒後研修：2年を含まない）原則として各専門領域の学会専門医取得に定められた期間

(到達目標)

- 専門医としての患者ケアのための臨床能力を身につける。
- 専門医としての患者ケアのための知識の習得と応用が出来る。
- 診療経験を振り返り臨床能力を向上させることが出来る。
- 必要かつ十分なコミュニケーション能力を身につける。
- 医師としてのプロフェッショナリズムを身につける。
- 家族・地域・制度などの医療資源を果たすことが出来る。
- 指導医としての教育的役割を果たすことが出来る。
- 臨床研究の意義を理解し倫理原則にしたがって研究を行うことができる。

2 研修の実績

研修医の人数	98人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
横須賀 収	消化器内科	科長（教授）	37年	
中世古 知昭	血液内科	科長（診療教授）	24年	
小川 真	腎臓内科	科長（診療教授）	30年	
中島 裕史	アレルギー・膠原病内科	科長（教授）	24年	
横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	科長（教授）	24年	
小林 欣夫	循環器内科	科長（教授）	24年	
小林 欣夫	冠動脈疾患治療部	科長（教授）	24年	

巽 浩一郎	呼吸器内科	科長（教授）	33年	
桑原 聡	神経内科	科長（教授）	28年	
生坂 政臣	総合診療部	部長（教授）	27年	
並木 隆雄	和漢診療科	科長（診療教授）	27年	
松宮 護郎	心臓血管外科	科長（教授）	26年	
松原 久裕	食道・胃腸外科	科長（教授）	28年	
宮崎 勝	肝胆膵外科	科長（教授）	37年	
長嶋 健	乳腺・甲状腺外科	科長（准教授）	24年	
吉野 一郎	呼吸器外科	科長（教授）	25年	
吉田 英生	小児外科	科長（教授）	34年	
滝口 裕一	臨床腫瘍部	部長（教授）	29年	
磯野 史朗	麻酔・疼痛・緩和 医療科	科長（教授）	28年	
市川 智彦	泌尿器科	科長（教授）	28年	
高橋 和久	整形外科	科長（教授）	36年	
山本 修一	眼科	科長（教授）	29年	
松江 弘之	皮膚科	科長（教授）	25年	
岡本 美孝	耳鼻咽喉・頭頸部 外科	科長（教授）	33年	
佐藤 兼重	形成・美容外科	科長（教授）	36年	
伊豫 雅臣	精神神経科	科長（教授）	37年	
佐伯 直勝	脳神経外科	科長（教授）	28年	
生水 真紀夫	婦人科・周産期母 性科	科長（教授）	31年	
下条 直樹	小児科	科長（教授）	33年	

宇野 隆	放射線科	科長（教授）	27年	
織田 成人	救急科・集中治療部	科長（教授）	34年	
織田 成人	人工腎臓部	科長（教授）	34年	
村田 淳	リハビリテーション部	部長（診療教授）	26年	
伊豫 雅臣	こどものこころ診療部	科長（教授）	37年	
野村 文夫	検査部	部長（教授）	37年	
中谷 行雄	病理部	部長（教授）	34年	
横須賀 収	光学医療診療部	部長（教授）	37年	
佐藤 武幸	感染症管理治療部	部長（診療教授）	37年	
丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	科長（教授）	26年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

[病棟患者急変対応セミナー]

医師1～2名（例：指導医、研修医）、看護師2～3名（例：熟練、中堅、新人看護師）でチームを形成し、1～2チームがあらかじめ作成したシナリオ（1～2種類※）にもとづいてシミュレーション実習を行う。シミュレーターはSimMan 3GやSimBabyを用いる。シナリオ内容は作成者およびセミナー管理者にのみ知らされ、実習参加者はシナリオの内容を知らずに急変対応を行っていく。実習の様子はビデオモニターで撮影・記録され、上記チーム以外の参加者はその映像をリアルタイムで観察する。実習終了後、記録ビデオを参考しながら、全参加者でデブリーフィング(振り返り)を行う。

・研修の期間・実施回数

4回/年

・研修の参加人数

30～40名

[がん看護 「実践編」 ～化学療法～]

「がん化学療法の基礎（化学療法とは、抗悪性腫瘍の種類、抗悪性腫瘍薬の毒性について）」

「副作用に対する症状マネジメントについて」

「簡単な事例を用いての演習」

・研修の期間・実施回数 8月9日・1回

・研修の参加人数 58名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容 新任看護師長研修

「看護部組織、看護部運営、看護師長に求められる役割について」

「効果的な部署運営、看護師長の役割等についてグループワークにて情報交換」

「部署の看護管理に活かすため、他部署・他部門での見学研修」

・研修の期間・実施回数 4月・4回

・研修の参加人数 3名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容 「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に準拠した

単位型研修会

・研修の期間・実施回数 2日間・1回

・研修の参加人数 40名

※平成26年12月6日（土）、12月7日（日）で開催予定

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 山本 修一
管理担当者氏名	企画情報部長 高林 克日己 医療安全管理部長 磯野 史朗 ME機器管理センター長 織田 成人 医事課長 小川 明宏 薬剤部長 石井 伊都子 感染症管理治療部長 猪狩 英俊 総務課長 中湖 博則 医療サービス課長 田辺 朗

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 各診療科 企画情報部 薬剤部 医療サービス課 (診療情報管理係)	診療録は、入院・外来別に一患者一ファイル方式により管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務係	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課及び 医療サービス課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び 薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部及び 医療サービス課	/
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部及び 医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部及び 医療サービス課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部及び 医療サービス課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部及び 医療サービス課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染症管理治療部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部及び 医療サービス課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部及び 医療サービス課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染症管理治療部及び医療サービス課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染症管理治療部及び医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染症管理治療部及び医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染症管理治療部 医事課 医療サービス課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部及び薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 山本 修一	
閲覧担当者氏名	総務課長 中湖 博則	管理課長 桐島 孝
	経営企画課長 加瀬 治信	医事課長 小川 明宏
	医療サービス課長 田辺 朗	
閲覧の求めに応じる場所	会議室	
閲覧の手続の概要 閲覧を求める者は、国立大学法人千葉大学法人文書管理規則に基づき企画総務部総務課に閲覧申請を行い、その許可が得られた場合、閲覧担当者が附属病院会議室において求めに応じる。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 当院における安全管理に関する基本方針の考え方 医療事故防止・病院倫理委員会その他の当院の組織に関する基本的事項 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 当院における事故報告等からの改善のための方策に関する基本方針 院内及び院外への情報共有に関する基本方針 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 医療安全に係るマニュアルの作成及び周知に関する基本方針 関連委員会との連携に関する基本方針 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 患者に対する基本方針の閲覧に関する基本方針 患者からの相談への対応に関する基本方針 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年11回
・ 活動の主な内容： 安全管理体制の整備、安全管理のためのマニュアル整備 インシデントからの改善のための方策の検討 医療安全に関する教育及び職員研修の実施 院内における医療安全への取組みへの啓蒙	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年8回
・ 研修の主な内容： 医療事故防止セミナー（3回） 急変対応セミナー（4回） ベストプラクティス発表会	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： インシデント事例に基づき、改善状況を院内ラウンドにて確認している。 各部署での医療安全対策についての取組みを「ベストプラクティス」として募集し、優秀な取組みに対して表彰を行っている。 部署へ出向き、インシデント分析の指導・研修を行っている。 看護補助者を対象に、危険予知トレーニングなどの研修を実施している。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（2名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（4名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任（3）名 兼任（18）名 ・ 活動の主な内容： 医療上の事故に関する診療録及び看護記録等の記載内容の確認及び指導 医療上の事故及びインシデントの分析及び評価 各部署の医療安全に係る対策の実施状況の評価及び当該評価に基づく改善策の策定 改善策の実施状況の確認及び評価 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営 医療事故防止・病院倫理委員会において立案された医療事故防止対策の実施状況の調査及び見直し 医療安全に係る取り組み及び評価等を行うカンファレンスの実施 医療事故防止・病院倫理委員会への医療安全に係る情報提供及び当該委員会との連携 医療上の事故発生時における患者又は家族等への対応状況の確認及び指導 診療経過審議委員会及び医療事故調査委員会において立案された改善策の実施状況の調査及び見直し その他医療安全の推進に関すること	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容： 病院感染対策に関する基本的考え方 病院感染対策のための委員会 に関する基本的事項 病院感染対策のための従業者に対する研修に関する基本指針 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 院内感染発生時の対応に関する基本方針 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 その他の当該病院等における院内感染対策推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・ 活動の主な内容： 病原菌報告 (MRSA、緑膿菌、クロストリジウム・ディフィシルの分離状況と対策) について 職業感染対策 (針刺し・切創、血液・体液曝露報告、職員ワクチン接種プログラム等) について 多剤耐性菌・病原体別対策 (個別事例に対する対策等) について インフルエンザ対策 (予防接種、流行期の患者・職員の対応等) について 院内感染対策の指針、院内感染予防対策マニュアル等の改訂について 院内感染予防対策に関する研修について 内視鏡洗浄・履歴管理の一元化について その他感染に関する事項の検討、決定</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容： 1. 院内感染予防のためのワクチン接種 2. 結核感染対策について 3. Q&Aで学ぶ ICTマニュアル改訂のポイント</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. ICTラウンド (週1回) と報告 1) 診療コンサルテーション報告 2) 分離菌報告 3) 特定薬剤使用状況報告、 2. ICN・事務職員・清掃業者による環境清掃ラウンド (月2回) と報告 3. MRSA・緑膿菌を対象としたICT月間ラウンド (月1回) と報告 4. 職業感染対策 1) 針刺し・切創、血液・体液曝露外来の実施 2) 職員の抗体検査と予防接種の実施 5. 医療関連感染サーベイランスの実施とフィードバック 1) カテーテル関連血流感染 (血液内科、小児科・小児外科)、 2) 手術部位感染 (肝胆膵外科、食道胃腸外科) 6. 病院職員・外部委託業者に対するワクチン接種 7. 感染防止対策の地域連携に関する活動 1) 相互チェック 2) カンファレンス</p>	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 抗がん剤の取扱いについて（兼：研修医ガイダンス） 医薬品の安全使用のための業務手順書改訂について（兼：医療事故防止セミナー） 注射薬について —注射薬の特徴と取り扱い上の注意点—（兼：看護部新採用者早期研修）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 （有・無）業務の主な内容： 医薬品の採用・購入手続きに基づいた薬事委員会の開催及び適正購入の実施 医薬品の購入及び麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、厳重管理薬、特定生物由来製品等の適正管理の実施 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施 医薬品情報の収集および提供の実施 実施状況の確認 等	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無）その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理に係る内容の見直し及び医薬品安全管理のための業務手順書の順次改訂と院内への周知徹底 医薬品安全使用のための情報提供方法の工夫（薬事委員宛、各診療科・部門へのメールによる通知、ホームページへの掲載、使用診療科・患者を特定し個別に情報提供、処方入力時の注意喚起メッセージ表示、オーダーリングシステムからも参照可能なイントラネットを利用した情報提供、病棟に出向いての新規薬剤取扱い上の注意点の説明）	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年16回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 人工呼吸器・輸液・シリンジポンプ・閉鎖式保育器・血液浄化装置・人工心肺及び補助循環装置・除細動器等、年12回 診療用高エネルギー放射線発生装置（リニアック）の安全講習会（年2回） 診療用放射線照射装置（アフターローディング）の安全講習会（年2回）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定（有・無）保守点検の主な内容： 診療用高エネルギー放射線発生装置（リニアック）、診療用放射線照射装置（アフターローディング）、生命維持管理装置（人工心肺および補助循環装置・人工呼吸器・血液浄化装置・徐細動器・閉鎖式保育器・放射線装置） 当院で定めた機器（CT・MRI・血管造影装置・核医学診断装置、輸液・シリンジポンプ・フットポンプ・生体情報モニタ等）	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備（有・無）その他の改善のための方策の主な内容： 機器管理を主たる業務とする臨床工学技士を配置し、院内の安全管理部員を兼任とすることで、院内で起こった医療機器に関するインシデント等に早急に対応、安全管理部との共同配信文書として院内へ配信することができている。 また、全体で行う院内講習会のほか、インシデント発生等の際には原因を究明し、部署別・事例別の講習会を開催し、再発防止に努めている。	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 (財) 日本医療機能評価機構、平成24年4月23日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・病院のホームページ、広報紙及びパンフレット等において、特定機能病院としての機能を説明するとともに、各診療科の診療実績を公表する等、地域に向けた情報発信を積極的に行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無